

第79回分析化学討論会 研究発表プログラム

- この講演プログラムは4月16日現在のものです。
- 座長は当日に変更になる場合もあります。
- 口頭発表の講演時間は、主題講演（公募）15分（講演12分、討論3分）、一般講演15分（講演12分、討論3分）、テクノロジーレビュー講演30分（講演25分、討論5分）、です。
- なお、依頼講演は原則として30分（講演25分、討論5分）です。
- ポスター発表のコアタイムは60分で、以下のようになります。
[5月18日(土)]

午前 若手ポスター 掲示可能時間 10:30～12:00
コアタイム 10:45～11:45 (60分)

午後 若手ポスター 掲示可能時間 13:00～14:30
コアタイム 13:15～14:15 (60分)

午後 産業界R&D紹介ポスター講演（一般公開）
掲示可能時間 13:00～14:30
コアタイム 13:15～14:15 (60分)

[5月19日(日)]

午前 一般ポスター 掲示可能時間 10:30～12:00
コアタイム 10:45～11:45 (60分)

午前 高校生ポスター（一般公開）
掲示可能時間 10:30～12:00
コアタイム 10:45～11:45 (60分)

- 講演の発表者（登壇者）に○印を付けています。
- 主題講演の末尾には「R」を、依頼講演の末尾には「S」を、テクノロジーレビュー講演の末尾には「T」を付けています。
- ポスター発表の場合には、一般講演ポスター発表（産業界R&D紹介ポスターを含む）は「P」、若手講演ポスター発表（高校生ポスター講演を含む）は「Y」と明記しています。
- なお、産業界R&D紹介ポスター講演の末尾には「S」を、高校生ポスター講演の末尾には「H」を付けています。
- 産業界R&D紹介ポスター（産業界ポスターと略）と高校生ポスターは一般公開です。
- 本講演プログラムは講演申込者がオンライン登録したデータをそのまま掲載しています。
- 会場の都合等で討論会当日に講演プログラムを変更する場合があります。

【 A 会 場 】

【第1日 5月18日】

座長 森健

A1001 (9:30～9:45) テロメア4本鎖DNAの電気化学的検出試薬としての環状フェロセン化ナフタレンジミドの開発（九大院工¹・RCBT²・九産大生命科学科³）○金好 秀馬¹・藤本 和久³・Tingting, Zou^{1,2}・佐藤 しのぶ^{1,2}・竹中 繁織^{1,2}

A1002 (9:45～10:00) テロメアDNA識別分子の設計と分析化学的応用（九大院工¹・RCBT²）○竹内 龍佑¹・Zou, Tingting^{1,2}・佐藤 しのぶ^{1,2}・竹中 繁織^{1,2}

A1003 (10:00～10:15) SPR法による特異的脂質探索と膜タンパク質活性化メカニズムの解明（九大院理¹・福井大医²）○稲田 壮峰¹・木下 祥尚¹・岩本 真幸²・老木 成稔²・松森 信明¹

A1004 (10:15～10:30) 固定化DNAを介した核酸アプタマー修飾金ナノ粒子を用いた選択的分子検出の検討（愛媛大院理工¹・愛媛大PROS²・理研³）○矢野 雄暉¹・矢野 湧暉¹・小川 敦司²・前田 瑞夫³・朝日 剛¹・座古 保¹

座長 片山佳樹

【依頼講演】A1005S (14:30～15:00) 逆相HPLCをキラルHPLCに変えて不可能であったキラル識別を可能とした不斉誘導体化試薬（横浜薬大）○大類 洋

【依頼講演】A1006S (15:00～15:30) 生細胞中の脂肪滴動態をモニタリング可能とする新規脂肪滴検出蛍光色素（同仁化学研究所）○立中 佑希・江副 公俊・尾関 信之・石山 宗孝・志賀 匡宣

[PC設定時間]

座長 中野幸二

【依頼講演】A1007S (15:45～16:15) 一細胞解析のための膜タンパク質の酵素増感標識法（九大院工）○森 健・片山 佳樹
A1008R (16:15～16:30) ボロン酸修飾デンドリマーの細菌識別機能評価（上智大理工¹・現所属：理研前田バイオ工学²）○土戸 優志^{1,2}・池野 知¹・鶴房 莉帆¹・堀内 良介¹・橋本 剛¹・早下 隆士¹

A1009 (16:30～16:45) 核酸のみで行うゲノム編集法確立に向けた high throughput 解析法（広島大院医歯薬保(薬)）○紙谷 浩之・柳井 優里・鈴木 哲矢・河合 秀彦

[PC設定時間]

座長 土戸優志

A1010 (17:00～17:15) 酸分解を用いた高精度なRNA絶対定量法の開発（産総研物質計測標準）○柴山 祥枝・吉岡 真理子・加藤 愛

A1011 (17:15～17:30) 人工バニロイドレセプターペプチドの Helix-Turn-Helix フォールディングを伴う自己組織化膜形成とカプサイシンセンシング（九大院工）○中野 幸二・堀内 潤・平田 真吾・山中 真・姫野 俊基・石松 亮一

【第2日 5月19日】

座長 勝田陽介

A2001 (9:15～9:30) 磁気泳動を用いた生体関連粒子の評価（カワノラボ¹・富士食品²）○河野 誠¹・森 清香¹・立松 綾子²・阿部 竜典²

A2002 (9:30～9:45) 人工ユビキチンリガーゼを活用した乳がん細胞のE2活性検出（姫路獨協大薬）○宮本 和英・中谷 有沙・齋藤 一樹

A2003 (9:45～10:00) New Fluorescent Protein Alc Red of Akane family Showing Long-range Förster Resonance Energy Transfer like photonic cycle（福岡大理¹・長崎国大薬²・黒潮研³・黒潮和歌山研⁴）○KATO, Yuko^{1,2}・YOSHIDA, Koji¹・OHBA, Yoshihito²・NAKACHI, Shu³・IMAHARA, Yukimitsu⁴・NAKASHIMA, Kenichiro²・YAMAGUCHI, Toshio¹

A2004 (10:00～10:15) マイクロホール加工基板に形成した人工脂質二分子膜の拡散評価（NTT物性基礎研¹・兵庫県立大²）○大嶋 梓¹・中島 寛¹・住友 弘二²

A2005 (10:15～10:30) 細胞固定化基板の作製と光誘起対流を用いた細胞検出（阪府大院工¹・阪府大院理²・阪府大LAC-SYS研³）○西尾 まどか^{1,3}・川口 諒太郎^{1,3}・山本 靖之^{2,3}・田村 守^{2,3}・飯田 琢也^{2,3}・床波 志保^{1,3}

座長 加藤祐子

A2006 (13:15 ~ 13:30) 短鎖核酸による反復配列の協同的ラベル化 (熊本大院先端) ○北村 裕介・永井 康樹・勝田 陽介・井原 敏博

A2007 (13:30 ~ 13:45) 生体機能解析を目指した新規遺伝子発現制御技術の開発 (熊本大院先端¹・弘前大理工²・京大化研³) ○嘉村 匠人¹・勝田 陽介¹・北村 裕介¹・萩原 正規²・佐藤 慎一³・井原 敏博¹

A2008 (13:45 ~ 14:00) 小分子を用いた細胞内機能性RNA G-quadruplex 同定システムの開発 (熊本大院先端¹・京大化研²・弘大理工³) ○井上 舞美¹・勝田 陽介¹・佐藤 慎一²・萩原 正規³・上杉 志成²・井原 敏博¹

[PC設定時間]

座長 井原敏博

A2009 (14:15 ~ 14:30) 酵母カプセルを用いた膜透過性の制御とその評価法 (富士食品¹・カワノラボ²) ○立松 綾子¹・阿部 竜典¹・河野 誠²・伏見 善也¹

A2010 (14:30 ~ 14:45) スラブ光導波路分光法を用いる固液界面におけるチトクロームcの固定化と機能のその場観察 (産総研) ○松田 直樹・岡部 博隆

A2011 (14:45 ~ 15:00) 運動や環境によるストレス変化を唾液成分から追跡できるのか (高知大複合領域科学¹・高知大教育²) ○蒲生 啓司¹・大野 敬太²

【 B 会 場 】

【第1日 5月18日】

座長 石松亮一

B1001R (9:30 ~ 9:45) ポストインプリンティング修飾多点認識分子インプリントポリマーによる腫瘍マーカーの高感度検出 (神戸大院工¹・安田女子大薬²) 森重 貴裕¹・○高野 恵里¹・砂山 博文^{1,2}・北山 雄己哉¹・竹内 俊文¹

B1002R (9:45 ~ 10:00) がん診断を志向した抗体融合分子インプリントポリマーによるインタクトエクソソームの高感度蛍光センシング (神戸大院工) 森 貴翔・片山 航・清水 拓・源 和晃・高野 恵里・北山 雄己哉・○竹内 俊文

B1003R (10:00 ~ 10:15) 疾病・代謝に基づく超微量ガスの高感度バイオセンシング&イメージング (医科歯科大生材研) ○三林 浩二

B1004R (10:15 ~ 10:30) ナノ流体デバイスにおける光圧によるナノ粒子の操作と微小反応場の構築 (阪府大院工¹・産総研バイオメディカル部門²・関西学院大理工³・阪市大院理⁴・JST-さきがけ⁵・NanoSquare⁶) ○西岡 賢史¹・岸本 龍典^{2,3}・辻川 健寛¹・細川 千絵⁴・工藤 卓³・許 岩^{1,5,6}

座長 三林浩二

【依頼講演】 B1005S (14:30 ~ 15:00) 極限濃度色素液膜を用いる化学センシングデバイスの開発 (阪府大院工) ○久本 秀明

【依頼講演】 B1006S (15:00 ~ 15:30) テラヘルツ波ケミカル顕微鏡による微小量溶液中イオン濃度計測 (岡山大統合科学¹・岡山大自然²) ○紀和 利彦¹・前野 佑貴¹・眞鼻 敦也¹・Feroz Ahmed²・堺 健司¹・塚田 啓二¹

[PC設定時間]

座長 久本秀明

【依頼講演】 B1007S (15:45 ~ 16:15) 神経毒のその場計測を目指した簡便な電気化学検出法 (熊本大院先端科学) ○井原 敏博

【依頼講演】 B1008S (16:15 ~ 16:45) 単一細胞解析を目指すマイクロ液滴選別濃縮法 (東北大多元研¹・JST さきがけ²) 福山 真央^{1,2}・○火原 彰秀¹

[PC設定時間]

座長 竹内俊文

B1009R (17:00 ~ 17:15) 電気化学センシングによる単一細菌細胞の検出 (阪府大院工) Dung, Nguyen・岩本 晃太・○椎木 弘

B1010R (17:15 ~ 17:30) レーザー誘起単一高分子微粒子を分析場とする一分子抽出分析の試み (北大院総化¹・北大院理²) 野島 明瑞美¹・野原 陸¹・山本 春希¹・○三浦 篤志^{1,2}・喜多村 昇^{1,2}

【第2日 5月19日】

座長 富永昌人

B2001R (9:15 ~ 9:30) 電気化学的手法を用いた医療用放射性銅の分離精製 (高知大理工¹・群馬大院理工²・量研³・熊本大院先端⁴) ○森 勝伸¹・山崎 直亨²・須郷 由美³・大平 慎一⁴・宮地 凌摩⁴・戸田 敬⁴・石岡 典子³・渡辺 茂樹³

B2002R (9:30 ~ 9:45) マイクロウェルアレイへの選択的出入可能な3次元細胞誘導チップの作製と標的細胞の識別 (兵庫県大理) ○波多 美咲・鈴木 雅登・安川 智之

B2003R (9:45 ~ 10:00) ハイブリドーマの高効率作製を目指した走査型誘電泳動による単一細胞アレイの構築 (兵庫県大院物質) ○鈴木 雅登・岡山 太樹・安川 智之

B2004R (10:00 ~ 10:15) 脂質二分子膜におけるイオン性物質の分配と膜透過 (京工織大院工芸科学¹・東北大多元研²) 宮城 政弘¹・大松 照政¹・石田 尚人¹・湊 蛍¹・○吉田 裕美¹・福山 真央²・前田 耕治¹

B2005 (10:15 ~ 10:30) 同一化学種を介したイオンと電子の膜透過共役の空間依存性 (京工織大院工芸科学¹・東北大多元研²) 南井 一志¹・福山 真央²・吉田 裕美¹・○前田 耕治¹

座長 吉田裕美

B2006 (13:15 ~ 13:30) 食塩電解における酸素/塩素発生反応のその場電気化学分析 (山口大院創成科学¹・ブルーエナジーセンター²) ○岡田 拓弥¹・中山 雅晴^{1,2}

B2007 (13:30 ~ 13:45) 単層カーボンナノチューブ上での含窒素カーボンの作製と酸素触媒還元反応 (佐賀大院工) ○富永 昌人・鷹取 拓弥・中尾 紫乃

B2008 (13:45 ~ 14:00) 親水性有機化合物の電気化学検出にむけたNi/Pdヘテロダイマー埋め込みカーボン薄膜電極の研究 (埼玉工大¹・産総研²) ○芝 駿介¹・高橋 将太¹・小池 綾香¹・矢嶋 龍彦¹・鎌田 智之²・加藤 大²・丹羽 修¹

B2009 (14:00 ~ 14:15) 電極反応で生成する有機ラジカルイオンのミリ秒時間分解スペクトルの取得による均一電子移動速度反応の評価 (九大院工) ○石松 亮一・山口 雄輝・中野 幸二

B2010 (14:15 ~ 14:30) 飽和KCl水溶液を内部液とするイオン液体塩橋付き参照電極の電位 (甲南大理工¹・pH計測科学ラボラトリー²) 金丸 朝香¹・大西 佑貴¹・川本 拓実¹・○垣内 隆²・山本 雅博¹・村上 良¹

【 C 会場 】

【第1日 5月18日】

座長 高橋幸奈

C1001R (9:30~9:45) ナノ流体デバイスにおける流線分析とエクソソームの回収への応用 (阪府大院工¹・阪府大院生命²・JST-さきがけ³・NanoSquare⁴) ○石橋 遥¹・石橋 宰²・堀川彩²・林 実花²・許 岩^{1,3,4}

C1002R (9:45~10:00) π 相互作用を利用した液体クロマトグラフィー (京大院工) ○久保 拓也・金尾 英佑・森永 拓也・内藤 豊裕・大塚 浩二

C1003R (10:00~10:15) 光ナノアンテナで細胞活性を測る (阪府大院工) 木下 隆将・石木 健吾・○椎木 弘

C1004R (10:15~10:30) DNAを用いた自己修復型単分子接合の開発 (東工大理) ○原島 崇徳・西野 智昭

座長 加地範匡

【依頼講演】 C1005S (14:30~15:00) センシングとバイオナノ共生 (阪大院工) ○山下 一郎

【依頼講演】 C1006S (15:00~15:30) 細胞と対話するナノ足場材料による生命現象の理解 (阪大院工¹・JST-さきがけ²) ○松崎 典弥^{1,2}

[PC設定時間]

座長 久保拓也

【依頼講演】 C1007S (15:45~16:15) 分子認識アプタマー開発における進化分子工学操作の新しい展開 (東北大院工) ○梅津 光央

【依頼講演】 C1008S (16:15~16:45) インタラクティブバイオ界面デバイスの開発 (九大工¹・JST-さきがけ²) ○加地 範匡^{1,2}

[PC設定時間]

座長 新留康郎

C1009 (17:00~17:15) 脂質ナノ膜場における電気泳動法の有用性 (阪大院基礎工¹・阪大データビリティフロンティア機構²) ○岡本 行広¹・西野 遼¹・新岡 宏彦²・菅 恵嗣¹・馬越 大¹

C1010 (17:15~17:30) Microfluidics-based single-molecule live-cell imaging on cellular interactions occurring in the presence of external force (KAUST) Bader Al Alwan・Jasmeen Merzaban・○羽瀨 聡史

【第2日 5月19日】

座長 金田隆

C2001 (9:15~9:30) マイクロ・ナノ統合流体デバイスによる単一生細胞タンパク分析 (東大院工¹・東大病院皮膚科²) 中尾 達郎¹・○嘉副 裕¹・森川 響二郎¹・吉崎 歩²・馬渡 和真¹・北森 武彦¹

C2002 (9:30~9:45) マイクロデバイスを用いたタンパク質-リガンド複合体構造解析 (北大院工¹・理研SPring-8セ²・北大院総化³・リガク⁴・兵庫東大理⁵) ○真栄城 正寿^{1,2}・竹田 怜央³・伊藤 翔^{4,5}・上野 剛²・平田 邦生²・石田 晃彦¹・谷 博文¹・山本 雅貴²・渡慶次 学¹

C2003R (9:45~10:00) タンパク質ナノカプセル構造Encapsulinへのゲスト分子ディスプレイならびに内包化技術の開発 (秋田大院理工生命科学¹・東工大科学技術創成研究院化学生命科学研究²・東農工大院工生命工³) ○尾高 雅文^{1,2}・野中 衛¹・竹原 直輝¹・松村 洋寿¹・董 金華²・上田 宏²・野口 恵一³・養田 正文³・小川 信明¹

C2004 (10:00~10:15) メタン代謝酵素を用いたメタン特異的な分析手法の開発 (北大院工¹・九大院情報工²) ○清田 雄平¹・真栄城 正寿¹・渡慶次 学¹・宮崎 真佐也²

C2005 (10:15~10:30) 拡張ナノ空間を用いた高速酵素リアクターの開発 (東大院工¹・岡山大院自然科学²) ○山本 晃毅¹・森川 響二郎¹・今中 洋行²・今村 維克²・馬渡 和真¹・北森 武彦¹

座長 森内隆代

C2006 (13:15~13:30) 光造形式3Dプリント技術を利用するマイクロ化学分析システムの開発 (東京薬大薬) ○森岡 和夫・柳田 顕郎・東海林 敦

C2007 (13:30~13:45) Au/パーマロイ/Cu磁路型グリッド電極を用いた磁気誘電泳動による微粒子捕集 (名工大院工) ○飯國 良規・虎澤 紘隆・大谷 肇

C2008 (13:45~14:00) ペーパー分析デバイス上でのポリビニルアルコールによる過酸化水素の安定化 (岡山大院自然¹・スアンスナンタ・ラチャパット大²) ○金田 隆¹・Boonpoem-poon, Tuchpongpu²・Wonsawat, Wanida²

[PC設定時間]

座長 尾高雅文

C2009 (14:15~14:30) Development of a miniaturized photometric detector for the investigation of thiocyanate in smoker and non-smoker (岡山大院自然) ○Seetasang, Sasikarn・金田 隆

C2010 (14:30~14:45) 紙担持滴定剤を用いた小型電気伝導度滴定法の研究 (岡山大院自然¹・マヒドン大²) ○末富 佑典¹・Supatana, Buning²・Duangjai, Nacapricha²・金田 隆¹

C2011 (14:45~15:00) 光学的効果による化学発光の増幅に関する研究 (阪工大工) ○坂田 航・草野 晴風・藤本 貴大・岡田 輝也・藤森 啓一・森内 隆代

C2012 (15:00~15:15) 蛍光色素添加による各種化学発光の増幅機構の検証 (阪工大工¹・エウレカ社²) ○奥谷 燎平¹・坂田 優太²・藤森 啓一¹・森内 隆代¹

【 D 会場 】

【第1日 5月18日】

座長 宗伸明

D1001R (9:45~10:00) 北五味子と南五味子を鑑別するための酸度センサの開発 (東薬大薬) ○小谷 明・金子 真紀・袴田 秀樹

D1002R (10:00~10:15) 食用油脂中のトランス脂肪酸の反応熱分解ガスクロマトグラフィーによる迅速定量法の開発 (中部大応生¹・アジレント・テクノロジー²) ○古田 汐里¹・石田 康行¹・高桑 裕史²・中村 貞夫²

D1003R (10:15~10:30) 低温灰化法を用いた農産物中の微量元素濃度定量法の確立 (関西学院大理工) ○谷水 雅治・梅田 由里子

座長 松井利郎

【依頼講演】 D1004S (14:30~15:00) 食品の品質をAIで予測できるか? 非破壊スペクトル分析の試み (農研機構) ○池羽田 晶文

【依頼講演】 D1005S (15:00~15:30) 匂いの質と空間の可視化と予測 (九大シス情) ○林 健司

[PC設定時間]

座長 池羽田晶文

【依頼講演】 D1006S (15:45～16:15) MALDI-MSイメージング法の食品科学への応用(九大農院) ○松井 利郎

【依頼講演】 D1007S (16:15～16:45) 質量分析計を用いた食品の原料原産地判別技術(農研機構食品研究部門) ○鈴木 彌生子

D1008R (16:45～17:00) カーボンナノドットワイヤとカゼインミセルの相互作用: ヨーグルトからの乳酸菌回収への応用(物材機構) ○中尾 秀信・金 濟徳

【第2日 5月19日】

座長 井倉則之

D2001 (9:30～9:45) 講演中止

D2002 (9:45～10:00) ネギ中ネオニコチノイド系農薬分析における加圧流体抽出法の評価(産総研) ○中村 圭介・大竹 貴光・羽成 修康

D2003 (10:00～10:15) マシンラーニングで食品データの回帰分析に挑む(奈良先端大¹・アジレント²) ○芹野 武^{1,2}・金谷 重彦¹・中村 貞夫²・瀧川 義澄²

D2004 (10:15～10:30) 植物組織分解酵素を用いたピビリジニウム系除草剤の穏やかな分解抽出法(中部大応生¹・食品分析開発センターSUNATEC²・東海大理³・阪府大生命環境⁴) ○小出 高羅¹・菊川 浩史^{1,2}・大和 直樹¹・山本 良平¹・山本 敦¹・小玉 修嗣³・笠井 尚哉⁴

座長 荒木孝司

【依頼講演】 D2005S (13:15～13:45) 人工化学物質による環境汚染の未然防止に役立つ分析化学(北九市大環技研) ○門上 希和夫

【依頼講演】 D2006S (13:45～14:15) 薬物犯罪を立証する科学鑑定(厚労省関東信越厚生局麻薬取締部) ○津村 ゆかり

【依頼講演】 D2007S (14:15～14:45) 匂いによるがん診断(北九大) ○李 丞祐

【 E 会 場 】

【第1日 5月18日】

座長 栗崎敏

E1001 (9:30～9:45) 共焦点型蛍光X線イメージング法による亜鉛めっき鋼板試料の腐食挙動観察(阪市大院工¹・新日鐵住金²) 三田 昇平¹・秋岡 幸司²・土井 教史²・○辻 幸一¹

E1002 (9:45～10:00) 膜厚40 nmの自立型グラファイト超薄膜を用いて測定したsp²炭素の質量吸収係数(兵庫大院工¹・産総研²・LBNL³) ○Yasuji Muramatsu¹・Yasushi Soneda²・Eric Gullikson³

E1003 (10:00～10:15) 放射性セシウムの最終処分材料におけるCs-L₁吸収端XAFS測定(福島大理工¹・福島大環境放射能研²) ○大橋 弘範¹・高久 遼介¹・高瀬 つぎ子²

E1004 (10:15～10:30) 陽電子消滅法による純Ni中の水素誘起欠陥(千葉大院工) ○藤浪 真紀・小島 健司・Chiari, Luca

座長 市川慎太郎

E1005 (14:30～14:45) シンクロトロン蛍光X線分析法による三重津海軍所出土磁器(皿)の産地推定と考古学的手法との比較(佐賀大理工 肥前セラミックス研セ) ○田端 正明

E1006 (14:45～15:00) 粉末X線回折/リートベルト解析による純セルロースと植物中の結晶性セルロースの定量(明大¹・明大理工²・リガク³) ○中村 利廣^{1,3}・萩原 健太²・大淵 敦司³

E1007 (15:00～15:15) 高分解能X線光電子分光法による酸素グロー放電酸化金薄膜の保存に関する研究(鹿児島大院理工¹・鹿児島大工²・鹿児島大機器分析セ³) ○肥後 盛秀¹・久保 貴裕²・黒木 亮汰²・満塩 勝¹・久保 臣悟³

E1008 (15:15～15:30) 土壌重金属のハンドヘルド蛍光X線分析 - 試料調製と補正 - (明大理工¹・リガク²) ○萩原 健太¹・小池 裕也¹・中村 利廣^{1,2}

E1009 (15:30～15:45) 飲料水基準レベルウランの全反射蛍光X線分析(東邦大¹・量研放医研²・阪市大院工³) ○松山 嗣史^{1,2}・伊豆本 幸恵²・高村 晃大¹・辻 幸一³・酒井 康弘¹・吉井 裕²

[PC設定時間]

座長 満塩勝

E1010 (16:00～16:15) 放射光X線分析による日本全国河川堆積物データベース(JRS-DB)を用いた四国出土縄文土器の産地推定(東理大¹・愛媛県埋文セ²) ○中井 泉¹・加古川 伊武紀¹・親泊 宗一郎¹・阿部 善也¹・中野 良一^{1,2}

E1011 (16:15～16:30) パルスグロー放電プラズマを用いたアルカンの直接質量分析(広島大総科¹・リガク²・名大未来研³・名大院工⁴・東北大金研⁵) ○布目 陽子¹・児玉 憲治²・植木 保昭^{3,4}・義家 亮⁴・成瀬 一郎^{3,4}・我妻 和明⁵

E1012 (16:30～16:45) FD-MSによる高分子状態のケイ酸水溶液の測定(東京海洋大海洋資源¹・都立産業技術研究セ²・日本電子³) ○田中 美穂¹・柳 捷凡²・高 肇³・斎藤 修二³

E1013 (16:45～17:00) ESI-MSを用いたFe(II)の測定方法の開発(東京海洋大院) ○小田 恭平・田中 美穂

【第2日 5月19日】

座長 藤井聡

【依頼講演】 E2001S (9:15～9:45) 多変量解析は薄膜中の反応解析に使えるか(京大化研) ○長谷川 健・藤原 龍以・塩谷 暢貴・下赤 卓史

【依頼講演】 E2002S (9:45～10:15) 流通業におけるビッグデータ・AI活用事例(ティー・アール・イー) ○古賀 輝幸

E2003R (10:15～10:30) Application of Machine Learning Techniques to Plastic Identification Based on Raman Spectroscopy (Kindai University, Kyushu¹・Saimu Corporation²) Wilem, Musu¹・Akihiro Tsuchida²・○Hirofumi Kawazumi¹・Nobuto Oka¹

座長 大城敬人

【依頼講演】 E2004S (13:15～13:45) がん個別化医療へ向けた遺伝子発現データの活用法(九工大情報工¹・国立がん研究セ²) ○藤井 聡¹・佐々木 博己²・山崎 敏正¹

【依頼講演】 E2005S (13:45～14:15) ゲノム上の全ての遺伝子を“見る”技術の最前線～トランスクリプトミクスの新たな展開～(九大生医研) ○大川 恭行

[PC設定時間]

座長 河津博文

E2006R (14:30～14:45) 機械学習を用いた単分子シグナル解析による単分子識別(阪大産研) ○大城 敬人・鷹合 孝之・吉田 剛・小本 祐貴・鷺尾 隆・谷口 正輝

E2007 (14:45～15:00) 時間変化・周波数変化する分析計測信号からの特徴量抽出(中大理工¹・JST PRESTO²) ○片山 健二^{1,2}

- E2008 (15:00 ~ 15:15) Multivariate curve resolution法による混合物のNMRスペクトルからのスペクトル・組成分離 (中大院理工) ○永井 優也・片山 建二・孫 雲龍
- E2009 (15:15 ~ 15:30) SQUIDによる磁気モーメント測定値のradial offset依存性と再現性向上 (産総研計量標準総合セ¹・NIST²) ○松本 信洋¹・Cindi L. Dennis²・Robert D. Shull²

【 F 会 場 】

【第1日 5月18日】

座長 井上高教

- F1001 (9:30 ~ 9:45) spICP-MSにおけるマトリクスマッチングを実現する2液同時噴霧導入システムの開発とその応用 (東京電機大院工¹・産総研物質計測標準²) ○井戸 航洋^{1,2}・宮下 振一²・朱 彦北²・有賀 智子²・藤井 紳一郎²・保倉 明子¹・稲垣 和²
- F1002 (9:45 ~ 10:00) プラズマ内の酸化物イオン分布計測に基づいたICP-MSにおける炭素増感効果の基礎的研究 (産総研計量標準) ○有賀 智子・朱 彦北・稲垣 和三
- F1003 (10:00 ~ 10:15) 多摩川中流域における多元素及びアミノカルボン酸系キレート剤の分布の特徴 (環境調査研修所¹・東薬大生命²) ○藤森 英治¹・中島 梨恵²・熊田 英峰²・梅村 知也²
- F1004 (10:15 ~ 10:30) HR及びトリプル四重極ICP-MSによるバルクシリコン中のTiの測定に及ぼす硫黄及びSiのスペクトルマトリックス干渉の影響 (三菱マテリアル中研¹・三菱マテリアル四日市²) ○Mohammad B., Shabani¹・河野 利哉¹・鷲野 卓也²・富岡 賢一¹

座長 薮下彰啓

【依頼講演】 F1005S (14:30 ~ 15:00) レーザー分光法を用いた大気エアロゾル粒子の光学特性の実験および観測研究 (長崎大環境科学) ○中山 智喜

【依頼講演】 F1006S (15:00 ~ 15:30) Oxaliplatin投与後の大腸癌組織における蛍光X線分析 - 組織内の白金分布と抗腫瘍効果との関連性の検討 - (九大院医¹・九大院総理工²・JASRI/Spring-8³・徳島大院医歯薬⁴) ○木庭 遼¹・西堀 麻衣子²・藤田 逸人¹・関澤 央輝³・新田 清文³・永井 俊太郎¹・大内田 研宙¹・石田 竜弘⁴・中村 雅史¹

[PC設定時間]

座長 石坂昌司

【依頼講演】 F1007S (15:45 ~ 16:15) 孤立金属化合物クラスターの生成・分析における分光測定の実用 (九大院理) ○荒川 雅・堀尾 琢哉・寺寄 亨

F1008R (16:15 ~ 16:30) 硫黄K殻XAFSスペクトルの異方性を利用するポリチオフェン薄膜の面内配向性の評価 (広島大院工¹・広島大工²・広島大院理³) ○早川 慎二郎¹・福田 浩平²・濱嶋 悠太¹・加治屋 大介³・齋藤 健一³

[PC設定時間]

座長 早川慎二郎

F1009R (16:45 ~ 17:00) 超偏極キセノンガス生成供給装置普及版の開発と高分子への応用 (阪大院医¹・MRメドケム研²・帝人フロンティア³・京大院情報⁴) ○藤原 英明^{1,2}・小林 美一³・今井 宏彦⁴・木村 敦臣¹

F1010R (17:00 ~ 17:15) レーザー捕捉・顕微ラマン分光法を用いた単一エアロゾル分析 (広島大院理) ○石坂 昌司・大倉 華奈

F1011 (17:15 ~ 17:30) HPLC-ICP-MSを用いた三田市近郊武庫川流域河川水中におけるガドリニウム錯体の形態別分析 (関学大理工¹・産総研計量標準²) ○岩井 貴弘¹・三倉 加琳¹・成川 知弘²・壺井 基裕¹・千葉 光一¹

【第2日 5月19日】

座長 松田直樹

- F2001 (9:15 ~ 9:30) 反応セル型ICP-MSにおける反応時間制御の試み_その2 (アジレントインターナショナル) ○山田 憲幸
- F2002 (9:30 ~ 9:45) トリプル四重極ICP-MSを用いた有機溶媒中の塩素分析における干渉除去機構の検討 (アジレント¹・アジレントインターナショナル²) ○溝渕 勝男¹・山田 憲幸²・行成 雅一¹
- F2003 (9:45 ~ 10:00) LA-ICP-MSによる様々な金属鉄中の微量元素分析の検討 (東大院理¹・Thermo Fisher Scientific²) ○横納 好岐¹・黒木 康生²・平田 岳史¹
- F2004 (10:00 ~ 10:15) レーザーアブレーションICP質量分析計を用いたナノ粒子イメージング (東大院理¹・国立衛研 病理部²) ○山下 修司¹・鈴木 敏弘¹・小川 久美子²・曹 永晚²・井手 鉄哉²・平田 岳史¹
- F2005 (10:15 ~ 10:30) 液中レーザーアブレーション法によるナノ粒子の合成とICP質量分析計を用いた元素・同位体分析 (東大院理¹・TDK²) ○平田 岳史¹・山下 修司¹・石田 未来²・鈴木 敏弘¹

座長 平田岳史

F2006 (13:15 ~ 13:30) 誘導結合プラズマ発光分光分析による火成岩の主化学組成分析のためのガラスビード融解処理 (東北大金研) ○中山 健一・我妻 和明

F2007 (13:30 ~ 13:45) ネブライザーを利用した非熱平衡マイクロプラズマジェットシステムの開発 (産総研) ○稲垣 和三・寺本 慶之・宮下 振一・藤井 紳一郎

F2008 (13:45 ~ 14:00) 遠紫外減衰全反射分光法を用いた粉体中分子の電子状態分析 (近畿大理工) ○森澤 勇介・大橋 晃司

F2009 (14:00 ~ 14:15) 固体ナノ構造を利用したDNAの高効率光捕捉・マニピュレーションとマイクロ分離 (阪大院理) ○坪井 泰之・伊藤 謙太・高尾 亮太・東海林 竜也

F2010 (14:15 ~ 14:30) 赤外光導波路を用いた水中の二酸化炭素検出の高感度化 (神戸大院海事¹・群馬大院理工²・紀本電子工業³) ○孟 広治¹・堀田 弘樹¹・角田 欣一²・紀本 岳志³

[PC設定時間]

座長 森澤勇介

F2011 (14:45 ~ 15:00) 蝶鱗粉のサブミクロン構造を活用したSERS基板:自然界に学ぶ (東洋大生命¹・東洋大バイオナ²・ビーレフェルト大物理³) ○竹井 弘之^{1,2}・長田 一輝¹・渡邊 彪¹・Goelzhaeuser Armin³

F2012 (15:00 ~ 15:15) Gas chromatography/mass spectrometry of highly-toxic organochlorine pesticides using an ultraviolet femtosecond laser as an ionization source (九大芸工¹・九大未来セ²) ○Siddihali, Lakshitha Madunil¹・Tomoko Imasaka¹・Totaro Imasaka²

F2013 (15:15 ~ 15:30) Siナノ構造を用いた新奇光ピンセットによる蛍光標識ポリ(N-イソプロピルアクリルアミド)の光捕捉と分光計測(阪市大院理¹・Swinburne univ. Tech.²) ○永井達也¹・東海林 竜也¹・Saulius Juodkazis²・Denver Linklater²・坪井 泰之¹

F2014 (15:30 ~ 15:45) 多光子イオン化質量分析法によるエマルションの転相挙動評価法の開発(福井大工) ○杉山 智信・岩田 匡史・内村 智博

【 G 会 場 】

【第1日 5月18日】

座長 中島常憲

G1001R (9:30 ~ 9:45) SPM, PM_{2.5}, SO₂, NO₂から見た山陽小野田市の大気環境(山陽小野田市立山口東理大¹・山陽小野田市環境課環境調査セ²・山陽小野田市立山口東理大工³) ○浅野 比¹・光永 晴美²・栗原 遼³・佐藤 尚紀³・山下 貢治²・白石 幸英³

G1002R (9:45 ~ 10:00) 四国・本州の遠隔山岳地域における湿性沈着中の重金属のモニタリング(徳島大院社産理工¹・徳島大総合科学²・岩手大教育³・県立広島大生命環境⁴) ○山本 祐平¹・豊澤 大夢²・田中 稜真²・菊地 洋一³・西本 潤⁴・今井 昭二¹

G1003R (10:00 ~ 10:15) PM2.5自動成分分析装置(PX-375)を活用した大気汚染影響評価のための発生源推定の試み(堀場製作所) ○松本 絵里佳・水野 裕介・青山 朋樹

G1004R (10:15 ~ 10:30) GED-ICP-MSによる大気中水銀微粒子の測定(イアス) ○西口 講平・一ノ瀬 達也

座長 戸田敬

G1005R (14:30 ~ 14:45) 粒子酸化能の変動を掴む全自動観測装置の開発(産総研計量標準¹・環境研²・自動車研³・気象研⁴) ○チョン 千香子¹・藤谷 雄二²・萩野 浩之³・梶野 瑞王⁴・大畑 昌輝¹

G1006R (14:45 ~ 15:00) 大気粒子の化学物質やその影響をはかる(熊本大院先端(理)) ○戸田 敬

【依頼講演】 G1007S (15:00 ~ 15:30) 越境大気起源窒素とリンが日本の陸水環境に与える影響(東大新領域) ○山室 真澄

【依頼講演】 G1008S (15:30 ~ 16:00) 桜島火山降灰中の有害元素分析と環境影響(鹿児島大院理工) ○中島 常憲・園田 愛留音・高梨 啓和・大木 章

[PC設定時間]

座長 山本祐平

【依頼講演】 G1009S (16:15 ~ 16:45) 世界遺産・富士山頂で地球大気環境を調べる:自由対流圏大気の大気やPM2.5のケミストリー(早稲田大創造理工) ○大河内 博

【依頼講演】 G1010S (16:45 ~ 17:15) 福岡の都市大気への越境物質・局所排出物質の影響(福岡大理) ○林 政彦

G1011R (17:15 ~ 17:30) エアロゾルの新しい発生源解析法 - PAHとNPAHをマーカーとする燃焼由来粒子状物質の求め方 - (金沢大環日セ) ○早川 和一・Nagato, Edward Gou

【第2日 5月19日】

座長 大平慎一

G2001 (9:30 ~ 9:45) 環境水中ふん便性大腸菌濃度の推定における半減期の評価と予測(北見工大) ○宇都 正幸・齋藤 剣・工藤 祥久・納所 令

G2002 (9:45 ~ 10:00) 遺跡から出土する水銀朱に対する極微量硫黄同位体比分析と産地同定の試み(理研¹・近畿大²・出雲市文化財課³) ○高橋 和也¹・南 武志²・幡中 光輔³

G2003 (10:00 ~ 10:15) 走査型透過X線顕微鏡(STXM)を用いたTagish Lake隕石に含まれる有機物の分析(横浜国大院理工¹・横浜国大院工²) 桐生 健斗¹・○癸生川 陽子²・小林 憲正²

G2004 (10:15 ~ 10:30) 模擬星間物質への粒子線照射により生じた高分子態アミノ酸前駆体のキャラクタリゼーション(横浜国大院理工¹・横浜国大院工²・阪大³・量研⁴・東工大⁵) 倉本 想士¹・佐藤 智仁¹・癸生川 陽子²・柴田 裕実³・吉田 聡⁴・福田 一志⁵・小栗 慶之⁵・○小林 憲正²

座長 小林憲正

G2005 (13:15 ~ 13:30) イネ中のケイ素の多量体化の基礎的な解明(東京海洋大院¹・理研²) ○大塚 大河¹・田中 美穂¹・高橋 和也²

G2006 (13:30 ~ 13:45) 福岡市多々良川の溶存Fe(II)の酸化反応と洪水流出時の溶存鉄スペシエーション(九大RIセ¹・九環協²・福岡教大教育³・新潟大理⁴) ○吉村 和久¹・天日 美薫²・宮崎 義信³・松岡 史郎⁴

G2007 (13:45 ~ 14:00) 石垣島白保竿根田原洞穴遺跡の鍾乳石から読み取る古環境情報(九大RIセ¹・福岡大理²・九環協³・九電産業⁴・沖縄県埋文セ⁵) ○吉村 和久¹・杉原 真司¹・石原 与四郎²・天日 美薫³・能登 征美⁴・片桐 千亜紀⁵

G2008 (14:00 ~ 14:15) 鹿児島湾産魚類に含まれるセレン及び水銀と海底熱水噴気活動による影響(鹿児島大院理工) ○野添 千裕・児玉谷 仁・神崎 亮・富安 卓滋

[PC設定時間]

座長 富安卓滋

G2009 (14:30 ~ 14:45) 氷への真空紫外光照射後に表面に存在するOHラジカルの温度依存性(九大院総理工) ○薮下 彰啓・西本 寛彰・原田 明

G2010 (14:45 ~ 15:00) ナフィオンチューブによる河川水中過塩素酸イオンのオンライン濃縮(徳島大院医歯薬¹・徳島大薬²) ○竹内 政樹^{1,2}・吉川 遥²・島田 祐依²・田中 秀治^{1,2}

G2011 (15:00 ~ 15:15) ロケット燃料の燃焼場: 過渡現象を追うリアルタイム発生気体分析装置の試作開発(千葉工大院工¹・神戸工試²・産総研³・型善⁴・ISAS/JAXA⁵) ○坂野 文菜¹・和田 豊¹・三島 有²・津越 敬寿³・加藤 信治⁴・堀 恵一⁵・長瀬 亮¹

G2012 (15:15 ~ 15:30) アミド硫酸中の窒素分の次亜臭素酸イオンの電解発生によるSIトレーサブルな定量(産総研計量標準) ○朝海 敏昭

【 H 会 場 】

【第1日 5月18日】

座長 神崎亮

H1001 (9:30 ~ 9:45) 酸解離型ジアミド系配位子によるレアアースの抽出分離と抽出錯体構造解析(原子力機構¹・HZDR²・茨城大理³) ○下条 晃司郎^{1,2}・笹貫 武丸^{1,3}・Sebastian Schöne²・杉田 剛¹・岡村 浩之¹・池田 篤史²

H1002 (9:45~10:00) 分散微粒子抽出法(3) —亜硝酸の簡便で高感度な比色分析法の開発—(富山大院理工(理)¹・明大理工²) ○小濱 望¹・松平 光樹¹・岡崎 琢也²・佐澤 和人¹・波多宣子¹・倉光 英樹¹・田口 茂¹

H1003 (10:00~10:15) フェニルボロン酸導入型CTGのフェニルアミン誘導体に対する認識能評価(阪工大工) 森内 隆代・○久田 健太郎・藤森 啓一

H1004 (10:15~10:30) アゾフェニルボロン酸型糖センサーの糖類に対する反応性と反応に伴う色調変化の検討(早大院先進理工¹・千葉工大工²) ○鈴木 陽太¹・菅谷 知明²・石原 浩二¹

座長 高椋利幸

【依頼講演】 H1005S (14:30~15:00) 液液抽出媒体としてのイオン液体の多様性(東邦大理) ○平山 直紀

【依頼講演】 H1006S (15:00~15:30) イオン液体~溶媒が電荷を持つということ~(鹿児島大院理工) ○神崎 亮

[PC設定時間]

座長 平山直紀

H1007R (15:45~16:00) 定量NMR法による高濃度電解質水溶液の溶媒和構造解析(神戸大環境保全推進セ¹・神戸大院工²) ○牧 秀志^{1,2}・十川 廉²・水畑 穰²

H1008R (16:00~16:15) エチレングリコール系プロトン性溶媒和イオン液体のイオン伝導性(新潟大院自然) 渡辺 日香里・荒井 奈々・○梅林 泰宏

H1009R (16:15~16:30) ナノ細孔内水の凝固/融解におよぼす吸着物質の影響(茨城大量子線科学) ○山口 央・渋屋 裕太・枝並 友梨絵・櫻村 ちはる

[PC設定時間]

座長 下条晃司郎

H1010 (16:45~17:00) HFIP-水混合溶液中のアミノ酸L-ロイシンおよびL-フェニルアラニンの溶媒和構造変化の観測(佐賀大院工¹・佐賀大理工²・熊本高専³) ○藤 貴弘¹・水崎 弘章²・松上 優³・高椋 利幸²

H1011 (17:00~17:15) イミダゾリウム系イオン液体中におけるアルコール分子とNi(II)イオンとの錯形成平衡(佐賀大理工¹・同志社大生命医²・総合化学研究機構³・立命館大生命⁴) ○高椋 利幸¹・小川 輝¹・川頭 祐太郎¹・櫻井 裕之¹・貞包 浩一朗²・岩瀬 裕希³・小堤 和彦⁴

H1012 (17:15~17:30) ホウ酸と低分子アルコール、カルボン酸の錯生成反応と錯体構造(佐賀大総合分析セ¹・福岡教大²・佐賀大理工³) ○真瀬田 幹生¹・宮崎 義信²・高椋 利幸³

【第2日 5月19日】

座長 梅木辰也

H2001 (9:15~9:30) メソポーラスシリカMCM-41中に閉じ込めた1,4-ジオキサソ-水二成分溶液の熱挙動、構造、ダイナミクス(福岡大理¹・岡山理大理²・ポール・シェラー研³・レオン・プリリアン研⁴) ○山口 敏男¹・浦部 俊雄¹・吉田 亨次¹・橘高 茂治²・Fanni Zjuranyi³・Marie-Clare Bellissent-Funel⁴

H2002 (9:30~9:45) β -ラクトグロブリンの会合状態に対するアルキルアンモニウム系イオン液体の影響(福岡大理) ○吉田 亨次・禪院 智寛・藤吉 彩子・山口 敏男

H2003 (9:45~10:00) アセタール保護基の脱着を利用した疎水/親水性スイッチングイオン液体の合成とそのイオン間相互作用(山口大院創成科学) ○大久保 晃太・白松 勇人・上村 明男・藤井 健太

H2004 (10:00~10:15) 種々アルキルアミン軸配位子を有するアセチルアセトン金属(II)錯体のシラングラフトポリオレフィンの水架橋反応に対する速度論的触媒能評価(山口大院) ○田中 祥平・安達 健太

H2005 (10:15~10:30) 酸化チタン微粒子表面に吸着したメルブロン色素分子の自己会合構造解析(山口大院創成科学¹・山口大光・エネルギー研究セ²・山口大理³) ○安達 健太^{1,2}・津留 のど佳³

座長 安達健太

H2006 (13:15~13:30) ハニカム型基板への複数集光レーザーによる光誘起集合現象の解析(阪府大院理¹・阪府大院工²・阪府大LAC-SYS研³・村田製作所⁴) ○末廣 泰地^{1,2,3}・櫻井 健司^{2,3}・山本 靖之^{1,2,3}・田村 守^{1,3}・山崎 力⁴・石川 弘樹⁴・床波 志保^{2,3}・飯田 琢也^{1,3}

H2007 (13:30~13:45) 球状分子集合体の界面における物質移動速度のモーメント解析(立教大理) ○宮部 寛志

H2008 (13:45~14:00) プラズモン誘起電荷分離における電子輸送距離の効果:銀ナノタワーによる分析(東大生研) ○立間 徹・小野塚 頌人

[PC設定時間]

座長 吉田亨次

H2009 (14:15~14:30) 複光束サニャック干渉法による反磁性w/oマイクロエマルジョンの磁気応答の観測(阪大INSD) ○渡會 仁・Xing, Zilu

H2010 (14:30~14:45) マイクロメートル界面のミリ秒時間分解張力測定(東北大多元研¹・東工大理学院²) ○曾根 ゆり¹・遠藤 拓也²・石川 京平²・福山 真央¹・火原 彰秀¹

H2011 (14:45~15:00) 超臨界メタノール分解-MALDI-MSによるポリブチレンテレフタレート安定化反応解析(名工大¹・ポリプラスチック²) ○大谷 肇¹・栗本 将宏¹・阿久津 裕明²・川口 邦明²・渡辺 一史²

H2012 (15:00~15:15) 自立型脂質二重膜の膜張力・流動性におけるコレステロール濃度・浸透圧の効果(千葉大院工¹・東大院総合文化²) ○野本 知理¹・高橋 昌裕¹・藤井 拓也¹・Luca Chiari¹・豊田 太郎²・藤浪 眞紀¹

【 会 場 】

【第1日 5月18日】

座長 岸川直哉

I1001 (9:30~9:45) キャピラリー電気泳動によるエキソソーム膜タンパク質CD63の定量(岡山大院自然¹・トゥールーズ国立工科大²) ○谷 夢希¹・Romain CKC²・金田 隆¹

I1002 (9:45~10:00) 鋳型縮合によるペプチドアダプターの創製(岡山大院自然) ○山下 奈祐・窪田 博愛・金田 隆

I1003 (10:00~10:15) Phos-tag結合型光硬化性アクリルアミドによるリン酸化化合物のオンライン特異的濃縮・標識とマイクロチップ電気泳動分離(近大薬) ○山本 佐知雄・矢野 祥子・増田 誠子・木下 充弘・鈴木 茂生

I1004 (10:15~10:30) キャピラリー電気泳動を用いた低分子-核酸相互作用ハイスループットスクリーニング(阪府大院工) ○末吉 健志・西野 智哉・遠藤 達郎・久本 秀明

座長 末吉健志

I1005 (14:30 ~ 14:45) マルチ・チャンネル吸光検出器 (MCAD) を用いるフロー化学分析における Schlieren 効果の補償法 (Brawijaya Univ. Dept.Chem.¹・Ogawa&Co., MGC JAPAN²・岡山大インキュベーター³・岡山大院自然⁴・山梨大生命環境⁵) Hakim, Lukman¹・樋口 慶郎²・○本水 昌二³・金田 隆⁴・鈴木 保任⁵

I1006 (14:45 ~ 15:00) アルフッソンを用いる排水中ふっ化物イオンの SIA (愛知工大¹・Prince of Songkla Univ.²・Sri-nakharinwirot Univ.³・三菱ケミカルアナリテック⁴) Nichapat Chunin^{1,2}・Supasit Hirunsak^{1,3}・大野 慎介⁴・林 則夫⁴・村上 博 哉¹・Chongdee Thammakhet-Buranachai²・Weena Siangproh³・Proespichaya Kanatharana²・○手嶋 紀雄¹

[PC設定時間]

座長 中園学

I1007T (15:15 ~ 15:45) LC/MS 分析のための適切な固相の選択と、最新前処理手法の紹介 (ジーエルサイエンス) ○太田 茂徳・古庄 義明

I1008 (15:45 ~ 16:00) 表面気泡変調液体クロマトグラフィーによるアセトニトリル水溶液/C₁₈シリカ界面における物質分離機構の解析—界面における物質分布におよぼす溶媒組成の影響の解明— (埼玉大院理工) ○中村 圭介・生形 竜介・水野 恒・齋藤 伸吾・渋川 雅美

I1009 (16:00 ~ 16:15) 金属-有機構造体 [Fe₃O₄(H₂O)₂(C₉H₃O₆)₂] を固定相とする液体クロマトグラフィーにおける保持機構のスウィッチング (埼玉大院理工) 吉川 真帆・○半田 友衣子・齋藤 伸吾・渋川 雅美

[PC設定時間]

座長 渋川雅美

I1010 (16:30 ~ 16:45) 液体クロマトグラフィーにおける同位体分離機構の解明 (京大院工) ○金尾 英佑・内藤 豊裕・久保 拓也・大塚 浩二

I1011 (16:45 ~ 17:00) DNPH誘導体化/HPLC法によるカルボニル化合物一斉分析の検討 (近江オドエアーサービス¹・野村化学²) ○齊藤 幸¹・堀切 智²

I1012 (17:00 ~ 17:15) 液体クロマトグラフィーを用いるアミロイドβタンパク質凝集体の分離分析 (日大生産工¹・日大院生産工²) ○朝本 紘充¹・長嶋 恭介²・中釜 達朗¹・齊藤 和憲¹・南澤 宏明¹

I1013 (17:15 ~ 17:30) 向流クロマトグラフィーによるタンパク質分離における隔壁チューブのハイピッチ多層コイルを巻きつけた楕円型カラムの分離効率 (日大薬¹・日大理工²・米國 NIH³) ○四宮 一総¹・武田 知也¹・在間 一将¹・張替 直輝¹・戸倉 幸治²・伊東 洋一郎³

【第2日 5月19日】

座長 浜瀬健司

【依頼講演】 I2001S (9:30 ~ 10:00) GC-MSと Mosher 試薬を用いた DL-アミノ酸の分別定量 (東京薬大薬) ○長谷川 弘

【依頼講演】 I2002S (10:00 ~ 10:30) タンパク質内でのアミノ酸残基の老化: 高速キラル分析と生体機能への影響 (鈴鹿医療大薬) ○定金 豊

座長 巴山忠

【依頼講演】 I2003S (13:15 ~ 13:45) 多次元HPLCを用いる内在性微量キラルアミノ酸分析と医療応用 (福岡大薬¹・資生堂²・九大院薬³) ○古賀 鈴依子¹・三田 真史²・吉田 秀幸¹・能田 均¹・浜瀬 健司³

【依頼講演】 I2004S (13:45 ~ 14:15) 誘導体化技術を駆使した高感度かつ高精度なキラルメタボロミクス (静岡県大薬) 高山 卓大・水野 初・豊岡 利正・○轟木 堅一郎

[PC設定時間]

座長 古賀鈴依子

I2005 (14:30 ~ 14:45) 三次元HPLCを用いる地球外試料中のキラルアミノ酸分析 (九大院薬¹・資生堂²・九大院理³) ○古庄 仰¹・秋田 健行¹・三田 真史²・奈良岡 浩³・浜瀬 健司¹

I2006 (14:45 ~ 15:00) 疎水性アミノ酸を対象とする三次元キラルHPLC分析法の開発 (九大院薬¹・資生堂²) ○田中 優光¹・秋田 健行¹・三田 真史²・浜瀬 健司¹

I2007 (15:00 ~ 15:15) 高性能二次元キラルHPLCを用いるヒト血中D-Serの迅速分析 (九大院薬¹・資生堂²) ○吉岡 夏輝¹・石郷 翔人²・秋田 健行¹・三田 真史²・浜瀬 健司¹

【 J 会 場 】

【第1日 5月18日】

座長 稲田幹

J1001 (9:30 ~ 9:45) Michael付加反応を利用した四分岐高分子のイオンゲル網目形成の反応速度論: Li電池用ゲル電解質への応用 (山口大院創成科学) ○松浦 沙樹・韓 智海・藤井 健太

J1002 (9:45 ~ 10:00) 嵩高い不燃性溶媒を用いた超濃厚電解液の構造-電極反応相関とそれに及ぼす中性配位子の添加効果 (山口大院創成科学¹・東ソーファインケム²) ○澤山 沙希¹・Yanko, Todorov¹・三村 英之²・藤井 健太¹

J1003 (10:00 ~ 10:15) 四級ホスホニウム型イオン液体を用いたLiイオン電池用電解液中におけるポリエチレングリコール鎖の溶存構造解析 (山口大院創成科学) ○柴田 雅之・上山 祐史・藤井 健太

J1004 (10:15 ~ 10:30) 貴金属を用いない高性能燃料電池/水分解触媒のデザインと電気化学分析 (九大) ○中嶋 直敏・Jun Yang・Jufang Cheng

座長 清水陽一

【依頼講演】 J1005S (14:30 ~ 15:00) 低温作動可能な接触燃焼式COガスセンサ (阪大院工) ○田村 真治

【依頼講演】 J1006S (15:00 ~ 15:30) ダイオードデバイスによるガスセンシング (長崎大院工) ○兵頭 健生・清水 康博

[PC設定時間]

【依頼講演】 J1007S (15:45 ~ 16:15) 酸化グラフェンを用いた電気化学的ガスセンシング (熊本大院先端¹・熊本大院自然²) ○木田 徹也¹・Aynul Sakinah²・Nur Laila Hamidah²・新谷 雅貴²

【依頼講演】 J1008S (16:15 ~ 16:45) ジルコニアを用いる起電力式ガスセンサの電極被膜の効果 (愛媛大院理工) ○板垣 吉晃

【 P 会 場 】

【第1日 5月18日】

- P1101S (13:15 ~ 14:15) 包装容器分野における分光分析の活用 (東洋製罐GHD綜研) ○小沼 弥和子・平川 叙夫・細野 寛子
- P1102S (13:15 ~ 14:15) 理研計器のその場分析装置 (大気中光電子取量分光装置/可搬型複合X線分析装置) (理研計器) ○山下 大輔
- P1103S (13:15 ~ 14:15) 旭化成(株)の研究開発における解析技術の役割 -X線散乱実験による高分子構造解析-(旭化成) 廣澤和・○菊間 淳
- P1104S (13:15 ~ 14:15) X線CT技術を利用した製品開発業務への貢献 (ライオン) ○松永 由可里・田中 藍・筒井 拓也・柿澤 恭史
- P1105S (13:15 ~ 14:15) 質量分析を利用したリチウムイオン電池の分析事例 (JEOL) ○阿部 吉雄・佐藤 孝司・八幡 行記・佐々木 義和
- P1106S (13:15 ~ 14:15) SFC-LC-MSを用いた非イオン界面活性剤の二次元分離 (島津) ○渡部 悦幸・藤戸 由佳・早川 禎宏
- P1107S (13:15 ~ 14:15) シリカモノリスの分離媒体としての特徴と応用事例 (ジーエルサイエンス) ○太田 茂徳・古庄 義明
- P1108S (13:15 ~ 14:15) 郵送型検査キットによる体臭測定と、その応用によるバイオマーカー探索 (オドレート¹・宇都宮大院工²・横浜市大³) ○石田 翔太¹・稲川 有徳²・関本 奏子³
- P1109S (13:15 ~ 14:15) GC-TOFMS/FTIRを用いた食品香料分析法の紹介 (アナリティクセンズ¹・DANI Analytica²) ○羽田 三奈子¹・Albino Sironi²
- P1110S (13:15 ~ 14:15) サステナブルなガスクロマトグラフィー用多孔質シリカ担体の特性と液体クロマトグラフィーへの展開 (信和化工) ○小林 宏資・和田 啓男
- P1111S (13:15 ~ 14:15) 花王の研究開発を加速する解析研究 (花王解析科学研) ○井上 滋登
- P1112S (13:15 ~ 14:15) 東芝における分析技術開発 (東芝研開セ) ○沖 充浩
- P1113S (13:15 ~ 14:15) 高機能材料の設計を先導するナノ解析技術 (JFEテクノリサーチ) ○名越 正泰・北原 保子・猪瀬明・横石 規子・着本 享
- P1114S (13:15 ~ 14:15) 添加剤データベース -Compound Search- を用いた高分子材料中添加剤の簡便同定 (バイオクロマト) ○竹井 千香子・吉沢 賢一
- P1115S (13:15 ~ 14:15) 富士フィルムにおける異物分析事例 (2) LC/MS×多変量解析による異物要因不純物のノンターゲット分析 (富士フィルム解析技術セ) ○波多野 成児・井上拓也・井野 雄介
- P1116S (13:15 ~ 14:15) 炭素繊維強化ポリアミド樹脂の熱劣化に及ぼす繊維長の影響 (豊田中研) ○八木 謙一・福本 圭子・岡本 一夫・井上 雅枝
- P1117S (13:15 ~ 14:15) 富士フィルムにおける異物分析事例 (1) 一膜中に埋もれた微小および薄膜状有機異物の解析 (富士フィルム解析技術セ) ○加瀬澤 邦浩・鈴木 真由美
- P1118S (13:15 ~ 14:15) 医薬品の研究開発全ての基礎となる分析化学の紹介 (エーザイメディスン開発セ分析研) ○柿田 穰
- P1119S (13:15 ~ 14:15) 生命科学のためのピペットチップ型自動センシングシステムの開発 (システム・インストルメンツ¹・神戸大院工²) ○志村 宣明¹・鶴嶋 善久¹・高野 恵里²・竹内 俊文²・濱田 和幸¹
- P1120S (13:15 ~ 14:15) シスメックス(株)において期待されるバイオ診断薬技術センターの分析部門の役割 (シスメックス) ○中原 真・佐藤 晴哉・一口 毅
- P1121S (13:15 ~ 14:15) 化粧品開発研究への電子顕微鏡の応用 (コーサー研究所) 山下 美香・○安田 純子・畑 毅
- P1122S (13:15 ~ 14:15) BCPの事前対策 (耐震固定) による受託研究機関の企業価値向上事例 (セノ耐震事業部) ○加藤 恒雄・小林 英治
- P1123S (13:15 ~ 14:15) 新規ビジネス創出に向けた新しいアミノ酸分析法の開発 (味の素) ○山口 浩輝・巽 萌美・高橋 一敏・水越 利巳・宮野 博
- P1124S (13:15 ~ 14:15) 産業界における様々な技術的課題をサポートする島津テクノリサーチの分析技術紹介 (島津テクノ) ○奥村 毅
- P1125S (13:15 ~ 14:15) 研究者をサポートする試薬メーカーとして (富士フィルム和光純薬) ○早川 昌子・昆 亮輔
- P1126S (13:15 ~ 14:15) AGCにおける分析科学チームのミッションと分析事例 (AGC先端研) ○西條 佳孝・山本 雄一
- P1127S (13:15 ~ 14:15) ワンストップ型技術的課題解決窓口としての分析・解析よろず相談「分析NEXT」の活動と事例紹介 (九州先端研) ○吉原 大輔・一丸 恵子・王 胖胖・山本 竜広・山田 淳・川畑 明
- P1128S (13:15 ~ 14:15) 日産化学の研究開発をリードする先端分析研究 (日産化学) ○松原 功達・川島 光善
- P1129S (13:15 ~ 14:15) 地域発イノベーション創出環境の構築を目指す「ふくおか産学共創コンソーシアム」の紹介 (九大先端研) ○山本 竜広・吉原 大輔・一丸 恵子・王 胖胖・川畑明・山田 淳
- P1130S (13:15 ~ 14:15) キリン(株)基盤技術研究所の先端高度分析化学について (キリン基盤研) 楊箸 爽・○門田 智之
- P1131S (13:15 ~ 14:15) 開発をリードするためのon-site高速イメージング技術—インクジェット画像形成メカニズム解析を中心に— (富士フィルム解析技術セ) 浜本 貴紀・○宮下 陽介
- P1132S (13:15 ~ 14:15) 味の素(株)の研究開発をリードするアミノ酸分析技術 (味の素) ○唐川 幸聖・原田 真志・岩畑 大悟・中山 聡
- P1133S (13:15 ~ 14:15) 出光興産の研究開発における分析・解析の役割 (出光興産次世代技術研) ○八百 篤史・友池 和浩
- P1134S (13:15 ~ 14:15) 「高度な技術で社会に貢献する」、受託分析・研究サポート (東レリサーチセ) ○竹澤 正明
- P1135S (13:15 ~ 14:15) FcR III A分取カラムを用いた抗体医薬品の分離とN型糖鎖構造解析 (東ソー分析セ) ○谷本 典之・横山 祐介・榎本 愛子・櫻井 萌

【第2日 5月19日】

- P2001 (10:45 ~ 11:45) アンモニアガスをリアクションガスに用いたレーザーアブレーションICP-MSによるガラス中微量元素の分析 (AGC先端研) ○菅野 直樹
- P2002 (10:45 ~ 11:45) ICP発光分光分析における有機溶媒測定のプロプラズマ条件の最適化 (アジレント) ○橋本 文寿・大山拓也・平野 岳史・吉田 由紀

- P2003 (10:45～11:45) グロー放電質量分析による無機材料中塩素の定量の検討 (アメテック) ○高橋 隆子
- P2004 (10:45～11:45) 日本における頭髮ヒ素分析の問題点 (京大工) ○河合 潤
- P2005 (10:45～11:45) 同軸型光ファイバーピックアップ内臓DBDプラズマ源の応用 (東京薬大生命¹・東工大未来研²) ○青木 元秀¹・末永 祐磨²・守屋 翔平²・梅村 知也¹・沖野 晃俊²
- P2006 (10:45～11:45) 半導体製造プロセスで使用される薬液中の金属ナノ粒子分析 (アジレント¹・アジレントインターナショナル²) ○島村 佳典¹・溝渕 勝男¹・山中 理子²・板垣 隆之²
- P2007 (10:45～11:45) トリプル四重極ICP-MSによるリアクションセルにおけるアクチニド分子イオンの生成と定量分析への応用 (アジレントテクノロジー¹・長岡技科大²・京大複合原子科学研³・東北大金研⁴) ○鹿籠 康行¹・鈴木 達也²・山村 朝雄³・阿部 千景⁴・小無 健司⁴
- P2008 (10:45～11:45) キレート樹脂固相抽出法による3価・6価クロム分別原子吸光分析-第2報 (日立ハイテクサイエンス) ○山本 和子・坂元 秀之・白崎 俊浩
- P2009 (10:45～11:45) トリプル四重極ICP-MSによる異なるセルガスにおける酸化物イオンの生成挙動 (アジレント¹・産総研物質計測標準²) ○中野 かずみ¹・朱 彦北²・鹿籠 康行¹
- P2010 (10:45～11:45) レーザーアブレーション-トリプル四重極ICP-MSによる鉄鋼試料中の主成分元素から極微量元素の一斉分析条件の検討 (サーモフィッシャー¹・東大院理²) ○黒木 康生¹・楨納 好岐²・平田 岳史²
- P2011 (10:45～11:45) 分子インプリント法を利用したアントシアニン計測用蛍光センサーの開発 (佐賀大農) 山室 麻由子・上田 敏久・○宗 伸明
- P2012 (10:45～11:45) 3次元蛍光分析及びアミノ酸分析によるワイン品質評価法の検討 第2報 (日立ハイテクサイエンス) ○岩谷 有香・成松 郁子・堀込 純・白崎 俊浩
- P2013 (10:45～11:45) カルボラン化合物の三次元芳香族性を活用した分子内電荷移動蛍光の観測とその特性 (岐阜薬大¹・岐大院連合創薬医療情報²) 弥永 拓斗¹・濱崎 浩太郎¹・瀬戸 邦匡²・山本 拓平¹・江坂 幸宏^{1,2}・○宇野 文二^{1,2}
- P2014 (10:45～11:45) ソリューションプラズマ法を用いる分散剤を含まない金ナノ粒子分散水溶液調製と表面増強ラマン散乱分光基板への応用 (産総研) ○松田 直樹・岡部 博隆
- P2015 (10:45～11:45) 植物の新規in-situ蛍光/プローブ光の偏向計測法の開発 (福岡工大工) ○呉 行正・黄 洛珪
- P2017 (10:45～11:45) 酸化還元反応を伴う過塩素酸アルカリ金属塩の時間分解X線光電子スペクトル (龍谷大理工) 岡本 竜弥・○藤原 学
- P2018 (10:45～11:45) 極低角度入射イオンビームオージェ深さ方向分析による三次元オージェ深さ方向分析の基礎的検討 (物材機構) ○荻原 俊弥・吉川 英樹
- P2019 (10:45～11:45) 内部標準法、外部標準法による定量NMR法の含フッ素化合物への適用 (AGC) ○松村 和紀・網野 陽介
- P2020 (10:45～11:45) チオウレア基を有するピチオフェン化学センサーによるアニオンセンシング (東工大理¹・JSTさきがけ²) ○土屋 智誠¹・原田 誠¹・岡田 哲男¹・福原 学^{1,2}
- P2021 (10:45～11:45) 金属蒸着ガラス棒センサーの応答機構に関する研究 (27); 角形ガラス棒による多機能センサー構築のための基礎研究 (鹿児島大院理工¹・鹿児島大工²) ○満塩 勝¹・上原 美穂²・肥後 盛秀¹
- P2022 (10:45～11:45) 明瞭多彩な色調変化を示すホルムアルデヒドガスセンサーの開発 (北見工大¹・常光²) ○兼清 泰正¹・須田 美穂¹・三谷 裕¹・薬袋 博信²
- P2023 (10:45～11:45) 熱分析によるセルロイドの劣化解析 (神奈川大理¹・神奈川大総理研²・リガク³) 松岡 史修¹・大石 不二夫²・細井 宜伸³・○西本 右子^{1,2}
- P2024 (10:45～11:45) 燃焼-イオンクロマト法による塩素測定における試料前処理用具からの汚染の影響 (高知工技セ) ○隅田 隆・八幡 美和子
- P2025 (10:45～11:45) コンドロイチン硫酸由来不飽和二糖のLC-MS/MSによる定量分析法開発 (アサヒグループホールディングス) ○平井 健吾・吉岡 俊暁・宮本 靖久・鈴木 康司
- P2026 (10:45～11:45) 熱脱着・熱分解DART-QTOFMSを用いたグリセライド構成脂肪酸の分析 (バイオクロマト) ○吉沢 賢一・竹井 千香子
- P2027 (10:45～11:45) 熱脱着・熱分解DART-MSを用いたポリカーボネートの末端基構造解析 (バイオクロマト¹・産総研²) 吉沢 賢一¹・○竹井 千香子¹・中村 清香²・佐藤 浩昭²
- P2028 (10:45～11:45) 有機化合物の迅速スクリーニング分析のためのダイレクトインレットプローブ-マルチイオン化質量分析装置の試作開発 (神戸工業試験場¹・産総研²) ○三島 有二¹・津越 敬寿²
- P2029 (10:45～11:45) イオン付着イオン化質量分析法の化合物間相対感度評価と植物油分析への適用 (横国大院環境情報¹・JSTさきがけ²・神戸工業試験場³・産総研⁴) ○藤井 麻樹子^{1,2}・田中 春香¹・三島 有二³・津越 敬寿⁴
- P2030 (10:45～11:45) 日焼け止め中紫外線吸収剤のASAP-MS分析 (長崎国際大薬) ○中村 沙織・岩下 美悠・岡元 美樹・高田 誠・高井 伸彦・大庭 義史
- P2031 (10:45～11:45) Organ-on-a-chip技術で構築した組織界面のナノスケールイメージングに向けた基礎検討 (東北大工¹・東北大院工²・東北大学際科学フロンティア研³・東北大院環境科学⁴・金沢大ナノ生命科学研⁵・さきがけ⁶) 阿部 充里¹・○梨本 裕司^{2,3}・井田 大貴⁴・高橋 康史^{5,6}・伊野 浩介²・珠玖 仁²
- P2032 (10:45～11:45) 発光ダイオードを光源に用いる吸光度検出器とマイクロリングポンプを用いる簡易なフローインジェクション分析装置の開発 (山梨大院総合研究¹・山梨大生命環境²・岡山大インキュベーター³・山梨大教⁴・金沢工大バイオ化⁵) ○鈴木 保任¹・瀧井 祥太²・廣瀬 智美²・本水 昌二³・山根 兵⁴・川久保 進¹・藤永 薫⁵
- P2033 (10:45～11:45) フローインジェクション法によるAs(III) およびAs(V) の分別定量 (アクア・ラボ¹・都立産技研²・東学大³・鳥取大⁴) ○島田 勝久¹・梶山 哲人²・井上 潤²・國仙 久雄³・中野 恵文⁴
- P2034 (10:45～11:45) 試薬消費量の節減を可能にする三角波制御フロー分析法の開発 (徳島大院医歯薬(薬)¹・徳島大薬²) ○田中 秀治^{1,2}・和田 莉緒菜²・築瀬 真利²・竹内 政樹^{1,2}

- P2035 (10:45～11:45) ワルファリンおよびそのハロゲン置換体に対する分子インプリントポリマーの調製および血清中のワルファリンの分析への応用 (武庫川女大薬) ○久保 有沙・萩中 淳
- P2036 (10:45～11:45) トラックエッチ膜フィルター電極を用いるHPLC多電位検出システムにおけるポリフェノール類の検出挙動 (徳島大院理工¹・野村マイクロサイエンス²・徳島大院医歯薬³) ○桑原 知彦¹・西森 大地¹・飯山 真充²・竹内 政樹³・高柳 俊夫¹・水口 仁志¹
- P2037 (10:45～11:45) 1.6μm粒子径UHPLCカラムによるペプチドの分析 (野村化学) ○堀切 智
- P2038 (10:45～11:45) 環境応答性クロマトグラフィーを用いた生体機能分子分析法の検討 (慶大薬) 前川 祐太郎・○山崎開智・長瀬 健一・金澤 秀子
- P2039 (10:45～11:45) FIDジェット型メタナイザー (JetanizerTM) の評価とCH₄, CO, CO₂微量分析への応用 (アジレント・テクノロジー¹・アステック²) ○太田瀬 亮¹・亀田 洋¹・中台 遼平²
- P2040 (10:45～11:45) Dithizoneを導入した樹脂による白金イオンの吸着挙動 (都立産技研¹・学芸大²・日薬大³) ○梶山 哲人¹・井上 潤¹・丸山 拓也²・牧田 麻里子²・下畝 千佳²・荒井 健介³・大室 智史³・吉原 伸敏²・國仙 久雄²
- P2041 (10:45～11:45) 水酸化ランタン固相と過酸化水素溶離系における抽出金属イオン種の選択性評価 (阿南高専¹・徳島大院理工²・愛媛大社会連携³) ○山田 洋平¹・高柳 俊夫²・村井 啓一郎²・藪谷 智規³
- P2042 (10:45～11:45) シクロペンチルメチルエーテルによる塩酸系からの貴金属および有害元素の抽出と濃縮 (宮崎大工¹・日本ゼオン²) ○大島 達也¹・小山 貴生¹・松尾 直樹¹・大榮 薫¹・大槻 記靖²
- P2043 (10:45～11:45) キノリノラト亜鉛 (II) 錯体型蛍光プローブにおけるATP認識機能 (阪教大¹・阪技術研 (森)²) ○久保整 公二¹・津田 輝¹・柏木 行康²・谷 敬太¹・横井 邦彦¹
- P2044 (10:45～11:45) チオカルボニル基を有する蛍光団の合成とこれらの金属イオンセンサー挙動 (第一薬大) ○増田 寿伸・古賀 和隆・白谷 智宣・城戸 克己・横山 さゆり
- P2045 (10:45～11:45) イミダゾール誘導体の生成に基づくα-アミノ酸に選択的な蛍光誘導体化 (長崎大院医歯薬¹・Mansoura University²) ○岸川 直哉¹・出口 華菜子¹・Mahmoud El-Maghrabey^{1,2}・黒田 直敬¹
- P2046 (10:45～11:45) パナジウム (V) - 多座配位子錯体の生成反応と溶存構造 (福岡教大¹・新潟大理²・九大RIセンター³) ○宮崎 義信¹・甲斐 諠臣¹・黒田 真司¹・松岡 史郎²・吉村 和久³
- P2047 (10:45～11:45) 過硝酸の酸解離平衡 (大阪技術研¹・阪大工²) ○中島 陽一¹・井川 聡¹・横山 高史²・北野 勝久²
- P2048 (10:45～11:45) 教育現場での活用を目指した、超小型コンピューター (Raspberry Pi) を用いる簡易比色計の開発 (上越教育大) ○下村 博志・安川 絢子
- P2049 (10:45～11:45) 氷グレインバウンダリーを用いる不凍たんぱく質と氷の相互作用の定量的評価 (宇都宮大院工¹・東工大理学院²) ○稲川 有徳¹・上原 伸夫¹・岡田 哲男²
- P2050 (10:45～11:45) 液液界面におけるアニオン性アゾベンゼン誘導体の電荷移動反応制御 (金沢大院自然) 中野 湧太・○永谷 広久・西山 嘉男・井村 久則
- P2051 (10:45～11:45) 温泉排水中のほう素除去に関する検討 (JFEテクノリサーチ¹・Y.S.L.²) ○永田 昌嗣¹・高橋 弘幸¹・川井 得吉¹・野辺 政博¹・吉川 裕泰²
- P2052 (10:45～11:45) イミノ二酢酸型キレート樹脂を用いる環境水中希土類元素の分離・濃縮法の開発 (金沢大総合技術部¹・金沢大理工²) ○南 知晴¹・真塩 麻彩実²・長谷川 浩²
- P2053 (10:45～11:45) 水熱合成法によるポルサイト生成を利用するセシウムの固定 (金沢工大バイオ・化学¹・物質材料機構²・法政大生命科学³) ○藤永 薫¹・信田 遙香¹・坂本 宗明¹・大嶋 俊一¹・小松 優¹・田村 堅志²・渡邊 雄二郎³
- P2054 (10:45～11:45) オンサイト蛍光偏光イムノアッセイ装置の開発とクロラムフェニコール分析への適用 (Tianma Japan) ○古谷 早苗・佐藤 憲・小野瀬 翔・溝口 親明・住吉 研・重村 幸治
- P2055 (10:45～11:45) 湿式前処理における錫とりんの挙動 (神岡鉱業分析セ¹・産公研八戸分室²・三井金属基礎評価研³・三井金属竹原分析セ⁴) 仲表 俊幸¹・西谷 大輔²・武村 勝則³・○小野 浩⁴
- P2056 (10:45～11:45) *in situ* FT-IR-ATR法による粉末メソポーラスシリカに吸着した二酸化炭素分子の観測 (東レリサーチセ) ○吉田 匡佑・吉本 茂・熊沢 亮一・関 洋文
- P2057 (10:45～11:45) 六価クロム分析におけるアンチモンの影響について (ユーロフィンFPT) ○越澤 孝博・新藤 勇樹・岡田 和磨・金子 貴義
- P2058 (10:45～11:45) フラックス法によるYAG:Ceの合成とその評価 (2) (福岡教大¹・福岡工大²) ○原田 雅章¹・呉 行正²
- P2059 (10:45～11:45) 加熱発生ガスIRおよび加熱*in situ* DRIFT測定によるAl酸化物のOH基評価 (東レリサーチセ) ○浅沼 佑紀・熊沢 亮一・吉田 匡佑・関 洋文
- P2060 (10:45～11:45) フタル酸エステル類含有樹脂からの移行性等の調査 (ユーロフィンFPT) ○新藤 勇樹・越澤 孝博・岡田 和磨・金子 貴義
- P2061 (10:45～11:45) 偏光顕微鏡によるポリエステル単繊維の識別 (神奈川県警科捜研) ○阪柳 正隆・居郷 孝泰・西部 浩一朗・田代 徹
- P2062 (10:45～11:45) LC/MS/MSによるD, Lアミノ酸の定量～疾患、疲労への適用～ (東レリサーチセ¹・鎌倉テクノサイエンス²) ○竹澤 正明¹・河野 憲史¹・田谷 祐子¹・藤井 茂雄²・山下 幸枝²・熊谷 洋紀²
- P2063 (10:45～11:45) 鈴鹿市岡太神社遺跡より出土した羽釜片の理化学分析 (東京医療保健大¹・日本食品検査²・昭光サイエンス³・アワーズテック⁴) ○大道 公秀¹・橋田 規²・市川 順子³・椎野 博⁴・清水 文雄⁴・西念 幸江¹・三舟 隆之¹

【 Y 会 場 】

【第1日 5月18日】

- Y1001 (10:45 ~ 11:45) 大気圧マイクロプラズマによる水素燃料ガス分析装置の開発～イオウ不純物分析における試料濃縮およびプラズマ励起条件の最適化～ (関学大理工¹・ヤナコ計測²・エスアンドエー・ラボ³・東大院理⁴・東工大未来研⁵)
○御船 星¹・石田 魁¹・岡田 将太¹・倉田 千聖¹・岩井 貴弘¹・松田 敬子²・森川 正己³・宮原 秀一⁴・沖野 晃俊⁵・千葉 光一¹
- Y1002 (10:45 ~ 11:45) 多重検出器型ICP質量分析計を用いたコアシェルナノ粒子の元素分析と構造解析 (東大院理¹・TDK²)
○山下 修司¹・石田 未来²・鈴木 敏弘¹・關根 理沙子²・平田 岳史¹
- Y1003 (10:45 ~ 11:45) 走査型透過X線顕微鏡による炭素繊維内部の配向分布の可視化 (日本製鉄¹・分子研UVSOR²・高エネ研PF³・総研大⁴)
○原野 貴幸^{1,3,4}・臼井 雅史¹・大東 琢治^{2,4}・武市 泰男^{3,4}・中川 淳一¹・禰宜 教之¹・村尾 玲子¹・木村 正雄^{3,4}
- Y1004 (10:45 ~ 11:45) キサンテン系色素と金属を用いるSe (IV) 吸光光度分析法の開発について (阪薬大¹・サエラ薬局²・大阪信愛女学院³)
○別所 蓉子¹・藤田 芳一^{1,2,3}・山口 敬子¹
- Y1005 (10:45 ~ 11:45) 塩添加による金ナノ粒子凝集過程の実時間観測 (愛媛大院理工)
○富永 康樹・座古 保・朝日 剛
- Y1006 (10:45 ~ 11:45) SERS法による微量酵素反応の生成物評価法：アセチルコリンエステラーゼを例として (東洋大院生命¹・東洋大生命科学²・東洋大バイオナノ研究セ³)
○山口 洋¹・竹井 弘之^{2,3}
- Y1007 (10:45 ~ 11:45) 凍結によるラマン分光の高感度化 (東工大理学院)
○福永 悠・原田 誠・岡田 哲男
- Y1008 (10:45 ~ 11:45) 凍結水溶液中での光励起状態におけるプロトン移動 (東工大理学院)
○武藤 智也・原田 誠・福原 学・岡田 哲男
- Y1009 (10:45 ~ 11:45) 含水PVAcにおける温度依存赤外スペクトルのMCR解析 (阪電通大院工)
○榊原 祐人・森田 成昭
- Y1010 (10:45 ~ 11:45) 主成分分析による胃がんおよび通常組織のラマンスペクトル解析 (日大工)
○高橋 格・赤間 佑希・沼田 靖・田中 裕之
- Y1011 (10:45 ~ 11:45) 蛍光共鳴エネルギー移動を用いた温度応答性脂質ナノエマルションと血清アルブミンとの相互作用の解析 (京都薬大)
○星野 有香・長岡 亜佐実・武上 茂彦・小西 敦子・北出 達也
- Y1012 (10:45 ~ 11:45) エタノール溶液中でのニトロアレンの蛍光増強反応 (東邦大理¹・都立産技研²・県立広島大生命環境³)
○布施 諒¹・藤巻 康人²・柳下 真由子³・大島 茂¹・西垣 敦子¹
- Y1013 (10:45 ~ 11:45) 講演中止
- Y1014 (10:45 ~ 11:45) CWレーザーを用いたタンパク質溶液の固化と膜成長 (大分大理工)
○齋藤 大輝・井上 高教
- Y1015 (10:45 ~ 11:45) ラマン分光法による炎症皮膚の識別 (大分大理工)
○藤原 英里奈・井上 高教
- Y1016 (10:45 ~ 11:45) 光ファイバを使ったラマン・蛍光測定による金属表面の分析 (大分大理工)
○姫野 敏充・井上 高教
- Y1017 (10:45 ~ 11:45) 水溶液中の温度応答性高分子の光捕捉と相分離構造の分光分析 (阪市大院理) 藤原 華代・○陸 潔・松本 充央・東海林 竜也・坪井 泰之
- Y1018 (10:45 ~ 11:45) 光捕捉された単一マイクロカプセルからの試薬放出のリアルタイムモニタリング (阪市大院理)
○飯田 京子・東海林 竜也・坪井 泰之
- Y1019 (10:45 ~ 11:45) Siナノ構造を用いた新奇光ピンセットによるDNAの高効率捕捉と蛍光観察 (阪市大院理¹・Swinburne Univ. Tech.²)
○高尾 亮太¹・東海林 竜也¹・Saulius Juodkazis²・Denver Linklater²・坪井 泰之¹
- Y1020 (10:45 ~ 11:45) エネルギー分散型及び波長分散型分光による蛍光X線イメージング装置の試作 (阪市大院工)
○尾関 凌太・山内 葵・辻 幸一
- Y1021 (10:45 ~ 11:45) X線回折法と走査型電子顕微鏡及び高分解能X線光電子分光法による金-アルミニウム合金の表面プラズモン共鳴に関する基礎研究 (鹿児島大院理工¹・鹿児島大機器分析セ²)
○奈須 慎太郎¹・有田 隆陽¹・満塩 勝¹・肥後 盛秀¹・久保 臣悟²
- Y1022 (10:45 ~ 11:45) 共焦配置による蛍光X線内部解析法の基礎研究 (阪市大工¹・堀場製作所²)
○園田 将太¹・中野 ひとみ^{1,2}・辻 幸一¹
- Y1023 (10:45 ~ 11:45) マグネシウム地金・合金の高精度なスタンダードレスEDX定量 (リガク¹・明大理工²)
○松田 渉¹・森川 敦史¹・大淵 敦司¹・森山 孝男¹・中村 利廣^{1,2}
- Y1024 (10:45 ~ 11:45) ¹⁹F-NMRと蛍光偏光解消法を用いた温度応答性脂質ナノエマルションの脂質流動性の解析 (京都薬大)
○長岡 亜佐実・星野 有香・武上 茂彦・小西 敦子・北出 達也
- Y1025 (10:45 ~ 11:45) 電気透析型イオン抽出デバイスを用いる有機ヒ素及び無機ヒ素の分離 (高知大院理¹・熊本大院先端²)
○丸山 洋平¹・大平 慎一²・小崎 大輔¹・森 勝伸¹
- Y1026 (10:45 ~ 11:45) ルテニウム修飾金ナノ粒子固定化電極による糖の電気化学的検出 (上智大理工)
○吉澤 賢太郎・岸 弓乃・橋本 剛・遠藤 明・早下 隆士
- Y1027 (10:45 ~ 11:45) コバルト導入タンゲスト硫酸錯体の電気化学的酸化還元挙動 (高知大理¹・高知大農林海洋²・Monash Univ.³)
○東 慎也¹・長谷川 拓哉²・Si-Xuan Guo³・Jie Zhang³・Alan Bond³・上田 忠治²
- Y1028 (10:45 ~ 11:45) インジウム-スズ酸化物薄膜を電解還元して作製した微小電極の電気化学特性 (兵庫県大院物質理¹・兵庫県大産学連携)
○井ノ崎 玲央奈¹・窪田 慎太郎²・鈴木 雅登¹・安川 智之¹
- Y1029 (10:45 ~ 11:45) プラスチックフォームドカーボン電極を用いたNi(II)の電気化学分析 (龍谷大理工)
○横谷 憲・糟野 潤
- Y1030 (10:45 ~ 11:45) 電極汚染性分子の電気化学検出を目的としたスパッタカーボン薄膜電極の表面電荷制御法の開発 (埼玉工大¹・産総研²)
○太田 早紀¹・芝 駿介¹・矢嶋 龍彦¹・鎌田 智之²・加藤 大²・丹羽 修¹
- Y1031 (10:45 ~ 11:45) 重合度の異なるPVC膜材料を用いた硝酸ISFETsのセンサ特性 (阪工大工¹・産総研・先端フォトバイオ²・神戸大院人間発達³・阪大院工⁴)
○金時 卓哉^{1,2}・大崎 脩仁^{2,3}・森内 隆代¹・脇田 慎一^{2,3,4}
- Y1032 (10:45 ~ 11:45) 色素分子膜の微小領域における匂いガスによる変化の解明 (大分大理工)
○張 瑾瑜・井上 高教

- Y1033 (10:45 ~ 11:45) PTFEビーズ混合テフロンAF1600またはAF2400選択膜被覆金蒸着ガラス棒SPRセンサーの応答特性に関する研究 (鹿児島大院理工) ○今村 彰宏・満塩 勝・肥後 盛秀
- Y1034 (10:45 ~ 11:45) 匂いセンサを利用した色変化による複合臭検出 (大分大理工) ○大塚 悠椰・井上 高教
- Y1035 (10:45 ~ 11:45) 餌の香気成分に対する昆虫触覚の電位差応答の検出 (熊本大院自然¹・熊本大院先端²) ○佐伯 健太郎¹・大平 慎一²・戸田 敬²
- Y1036 (10:45 ~ 11:45) ボロン酸型プローブ/デンドリマー複合体による細菌検出におけるベタイン導入効果 (上智大理工) ○与安 明日香・喜多村 文・池野 知・橋本 剛・早下 隆士
- Y1037 (10:45 ~ 11:45) 電磁誘導法による無接点給電システムを用いたルミノール/過酸化水素系電気化学発光挙動 (信州大理工) ○田中 竜太郎・森角 祐馬・金 継業・高橋 史樹
- Y1038 (10:45 ~ 11:45) ESI-MSを用いたTOPO抽出時におけるランタノイドの化学形態の解明 (東京海洋大院) ○小川 祥平・田中 美穂
- Y1039 (10:45 ~ 11:45) μ -TAS用微小プラズマ励起源のためのインバータ電源開発と特性評価 (東工大未来産業技研¹・東薬大院生科²) ○吉田 真優子¹・末永 祐磨¹・青木 元秀²・沖野 晃俊¹
- Y1040 (10:45 ~ 11:45) ミクロスケール電気泳動に基づく濃縮・混合・分離を利用した酵素反応初速度測定法の開発 (阪府大院工) ○高尾 隼空・遠藤 達郎・久本 秀明・末吉 健志
- Y1041 (10:45 ~ 11:45) 222 nm光源による光化学反応を用いた硝酸・亜硝酸イオンの高感度分析法開発 (鹿児島大院理工) ○久保 翔太郎・児玉谷 仁・神崎 亮・富安 卓滋
- Y1042 (10:45 ~ 11:45) 電気化学検出HPLCによるアルカプトン尿症モデルラットの尿中ホモゲンチジン酸の定量 (東薬大薬¹・東薬大生命²) ○貴志 拓歩^{1,2}・小谷 明¹・梅村 知也²・袴田 秀樹¹
- Y1043 (10:45 ~ 11:45) HPLC-ICP-MSを用いた亜硫酸の高感度定量法の開発 (関西学院大理工) ○中村 舞・谷水 雅治
- Y1044 (10:45 ~ 11:45) キャピラリーゾーン電気泳動法を用いた易分解性フラビン誘導体の酸解離平衡解析 (徳島大院先端技科¹・徳島大院社会産業理工²) ○谷上 裕紀¹・田上 拓磨¹・荒川 幸弘²・水口 仁志²・高柳 俊夫²
- Y1045 (10:45 ~ 11:45) キャピラリー電気泳動法によるグルタミン酸から合成した水溶性カーボンナノドットのキャラクタリゼーション (徳島大院先端技科¹・東邦大理²・徳島大院社会産業理工³) ○岩崎 颯太¹・矢部 駿²・森田 耕太郎²・平山 直紀²・水口 仁志³・高柳 俊夫³
- Y1046 (10:45 ~ 11:45) 低分子認識アプタマーのキャピラリー分子ふるい電気泳動に基づく高効率選抜法の開発 (阪府大工¹・阪府大院工²) ○和田 将英¹・西野 智哉²・遠藤 達郎²・久本 秀明²・末吉 健志²
- Y1047 (10:45 ~ 11:45) 超微量放射性金属のインラインカウンターイオン置換 (熊本大院自然¹・群馬大理工²・量研³・高知大理工⁴・熊本大院先端⁵) ○宮地 凌摩¹・山崎 直亨²・須郷 由美³・石岡 典子³・森 勝伸⁴・大平 慎一⁵・戸田 敬⁵
- Y1048 (10:45 ~ 11:45) 芳香族エーテルを溶媒としたカリックス[6]アレーン酢酸誘導体におけるアミノ酸エステルの抽出挙動 (宮崎大工¹・宮崎大工²・佐賀大院工³) ○浅野 迅矢¹・大島 達也²・大渡 啓介³
- Y1049 (10:45 ~ 11:45) 超分子型固相抽出剤のモノリスカラムを用いた環境水中鉛イオンの分離分析 (金沢大院自然¹・福島大理工²・GLサイエンス³・金沢大理工⁴) ○湯之下 航季¹・中窪 圭祐¹・宮口 真帆¹・Rahman Ismail Md. Mofizur²・古庄 義明³・真塩 麻彩実⁴・牧 輝弥⁴・長谷川 浩⁴
- Y1050 (10:45 ~ 11:45) テノイルトリフルオロアセトンを用いるキレート抽出における添加剤としてのイミダゾリウム型イオン液体の効果 (東邦大理) ○丸岡 由佳・森田 耕太郎・平山 直紀
- Y1051 (10:45 ~ 11:45) イミダゾリウム型イオン液体抽出系における抽出剤としての1-メチルイミダゾールの特性 (東邦大理) ○鳥羽 優美香・森田 耕太郎・平山 直紀
- Y1052 (10:45 ~ 11:45) 分散微粒子抽出法 (2) —ホルムアルデヒドの比色分析における呈色試薬と目的成分の微粒子への吸着挙動と色調変化— (富山大院理工(理)¹・明治大理工²) ○小瀆 望¹・岡崎 琢也²・佐澤 和人¹・波多 宣子¹・倉光 英樹¹・田口 茂¹
- Y1053 (10:45 ~ 11:45) Saddle型CTV誘導体の創製および金属イオン識別能の評価 (阪工大工) 森内 隆代・○松原 昌大・藤森 啓一
- Y1054 (10:45 ~ 11:45) 外部刺激応答型ベンゼントリアミドの創製およびその必須アミノ酸に対する識別能評価 (阪工大工) 森内 隆代・○河村 陸・藤森 啓一
- Y1055 (10:45 ~ 11:45) 含窒素環状コバルト錯体をイオノフォアとするイオン選択性電極のアニオン識別能評価 (阪工大工) 森内 隆代・○鳥越 なつみ・藤森 啓一
- Y1056 (10:45 ~ 11:45) ジピコリルアミン型蛍光プローブ導入ベシクル複合体の設計とイオン認識機能評価 (上智大理工) ○海老沢 優・遠藤 美和・橋本 剛・早下 隆士
- Y1057 (10:45 ~ 11:45) 表面にアミノ基を有するシクロデキストリンナノゲルの設計と包接機能評価 (上智大理工) ○竹内 聡弥・相馬 涼佳・橋本 剛・早下 隆士
- Y1058 (10:45 ~ 11:45) 種々の α -アゾフェニルホウ素化合物によるフッ化物イオンのセンシング (早大院先進理工¹・千葉工大工²) ○池田 あゆみ¹・鈴木 陽太¹・菅谷 知明²・石原 浩二¹
- Y1059 (10:45 ~ 11:45) アルギニン及びその塩とリンゴ酸からなる共融液体の創製と生成機構解明 (佐賀大院工) ○河村 建・高椋 利幸・梅木 辰也
- Y1060 (10:45 ~ 11:45) VXのバイナリー合成の可能性に関する計算化学的考察 (科警研¹・東大院薬²・理研³) ○大塚 麻衣^{1,2,3}・宮口 一¹・内山 真伸^{2,3}
- Y1061 (10:45 ~ 11:45) イオン液体中における均一網目イオンゲルの反応速度論とその力学・電気化学特性 (山口大院創成科学) ○石川 明日美・藤井 健太
- Y1101 (13:15 ~ 14:15) マイクロ粒子の超音波浮揚を用いた複数miRNAの同時定量 (東工大理院) ○宮川 晃尚・原田 誠・岡田 哲男
- Y1102 (13:15 ~ 14:15) 細孔拡張されたメソポーラスシリカナノ粒子の合成とタンパク質の吸着 (福岡大理) ○中村 育美・吉田 亨次・山口 敏男

- Y1103 (13:15 ~ 14:15) 逆ミセルのキャラクタリゼーションとその特性を利用した分離への展開 (東工大理学院) ○堺 陽奈子・原田 誠・岡田 哲男
- Y1104 (13:15 ~ 14:15) サブミリバブル模倣型基板を用いた光誘起集合によるバイオ分析技術の開拓 (阪府大院理¹・阪府大院工²・阪府大LAC-SYS研³) ○林 康太^{1,2,3}・山本 靖之^{1,2,3}・大橋 かるな^{1,2,3}・田村 守^{1,3}・床波 志保^{2,3}・飯田 琢也^{1,3}
- Y1105 (13:15 ~ 14:15) Siナノ構造を用いた新奇光ピンセットによる高分子ナノ粒子のサイズ選択的捕捉 (阪市大院理¹・Swinburne University of Technology²) ○橋本 早耶香¹・永井 達也¹・東海林 竜也¹・Saulius Juodkazis²・坪井 泰之¹
- Y1106 (13:15 ~ 14:15) 相模湾に分布するサメ類の脊椎の元素マッピングに対する試み (東京海洋大院¹・理研²) ○風間 仁美¹・高橋 和也²・根本 雅生¹・田中 美穂¹
- Y1107 (13:15 ~ 14:15) 大気粒子や雲水中イミダゾール類のHPLC-MS/MSによる検出 (熊本大院自然¹・熊本大院先端²・早大院創造理工³) ○和泉 椋¹・光石 夏澄¹・平 美咲¹・大平 慎一²・大力 充雄³・大河内 博³・戸田 敬²
- Y1108 (13:15 ~ 14:15) 海水および大気中ジメチル硫黄化合物の河口域・閉鎖海域・外洋にまたがる濃度推移の船上観測 (熊本大院自然¹・熊本大院先端²) ○田嶋 晃也¹・岡根 大記¹・前園 青也¹・佐伯 健太郎¹・阿部 洗大¹・大平 慎一²・戸田 敬²
- Y1109 (13:15 ~ 14:15) 火山礫・灰や土壤に含まれる揮発性硫黄成分の分析 (熊本大院自然¹・熊本大院先端²・早大院創造理工³) ○前園 青也¹・佐伯 健太郎¹・溝口 俊介¹・大平 慎一²・大河内 博³・戸田 敬²
- Y1110 (13:15 ~ 14:15) 化学的前処理法を用いた大型藻類中微量元素の化学形態別分析と取り込み挙動の解析 (金沢大院自然¹・金沢大理工²・新日鐵住金³) ○林 周平¹・小杉 知佳³・大浦 雅陽¹・大森 圭記¹・真塩 麻彩実²・牧 輝弥²・長谷川 浩²
- Y1111 (13:15 ~ 14:15) HPLC-ICP-MSを用いた多田銀銅山周辺河川における環境試料中Asの形態別分析 (関学大理工¹・産総研²) ○森 大地¹・一ノ瀬 陸¹・今西 綾乃¹・栗原 浩貴¹・岡本 淳¹・岩井 貴弘¹・成川 知弘²・壺井 基裕¹・千葉 光一¹
- Y1112 (13:15 ~ 14:15) 塩と水の共晶の融解過程に注目した微量成分濃縮法—磁場印加の影響— (神奈川大理) ○荒井 健・西本 右子
- Y1113 (13:15 ~ 14:15) 電解水中の活性酸素種と活性酸素消去活性 (神奈川大理) ○杉原 敏雄・西本 右子
- Y1114 (13:15 ~ 14:15) フッ素汚染土壌に対するキレート剤を用いた化学的洗浄法 (金沢大学院自然¹・金沢大学理工²・茨城高専³) ○谷本 篤彦¹・澤井 光³・齋藤 誠¹・石井 健斗¹・真塩 麻彩実²・牧 輝弥²・長谷川 浩²
- Y1115 (13:15 ~ 14:15) The analysis of nitroarenes formed by secondary atmospheric processes in the Japanese freshwater environment using HPLC-fluorescence (金沢大環日本海環境研究セ) ○Nagato, Gou・Hayakawa, Kazuichi
- Y1116 (13:15 ~ 14:15) Environmental analysis of pollutants at coasts around Tokyo Bay, and development of a biodegradation method using microorganisms isolated from marine environment (Toho University Faculty of Science) ○Michel Grimbergen・Atsuko Nishigaki
- Y1117 (13:15 ~ 14:15) 原子スペクトル分析法による都市ごみ焼却飛灰中鉛化合物の溶出挙動把握 (明治大院理工¹・明治大理工²) ○高橋 朋基¹・水沼 丈也¹・笠利 実希¹・小池 裕也²
- Y1118 (13:15 ~ 14:15) ネイティブ電気泳動法を用いる植物ポリフェノールの会合性評価 (神戸学院大栄養) ○前迫 一輝・豊島 亮太・坂本 裕香・石井 剛志
- Y1119 (13:15 ~ 14:15) 含水量を変化させた燃料電池用固体高分子膜NafionのパルスNMRを用いる評価法の開発 (阪工大工¹・兵庫県大院工²) 森内 隆代¹・○阪口 雄一¹・浦濱 圭彬²
- Y1120 (13:15 ~ 14:15) サイズ排除クロマトグラフィーを利用した金属担持リグニンの分子量分析 (高知大院理) ○生田 雄己・小崎 大輔・森 みかる・森 勝伸
- Y1121 (13:15 ~ 14:15) 講演中止
- Y1122 (13:15 ~ 14:15) HRPの増感反応による膜タンパク質の高感度検出のための蛍光性基質の開発 (九大院工¹・九大院システム生命²) ○織田 剛史¹・本部 大輝¹・川村 真朱美¹・岸村 顕広^{1,2}・森 健^{1,2}・片山 佳樹^{1,2}
- Y1123 (13:15 ~ 14:15) 膜タンパク質の高感度検出のための酵素増感可能な蛍光性基質の開発 2. 疎水性分子 (九大院工¹・九大院システム生命²) ○小野 啓一郎¹・本部 大輝¹・岸村 顕広^{1,2}・森 健^{1,2}・片山 佳樹^{1,2}
- Y1124 (13:15 ~ 14:15) 膜タンパク質の高感度検出のための酵素増感可能な蛍光性基質の開発 1. 疎水性基質 (九大院工¹・九大院システム生命²) ○吉田 良祐¹・川村 真朱美^{1,2}・岸村 顕広^{1,2}・森 健^{1,2}・片山 佳樹^{1,2}
- Y1125 (13:15 ~ 14:15) ペプチド-コラーゲン膜固定化電極による大豆由来タンパク質を検出するセンサの開発 (前橋工大¹・富山大院理工(理)²) ○石崎 空¹・倉光 英樹²・門屋 利彦¹・菅原 一晴¹
- Y1126 (13:15 ~ 14:15) 固定化DNAを介して核酸アプタマーを修飾した金ナノ粒子によるトロンピンタンパク質の検出 (愛媛大院理工¹・愛媛大PROS²・理研³・日産化学⁴・埼玉大院理工⁵・東大院総文⁶) ○吉村 健¹・矢野 湧暉¹・矢野 雄暉¹・小川 敦司²・前田 瑞夫³・朝日 剛¹・古性 均⁴・齋藤 伸吾⁵・吉本 敬太郎⁶・座古 保¹
- Y1127 (13:15 ~ 14:15) Nile Redを導入した両親媒性 α ヘリックス構造を有するペプチドプローブの開発とエクソソーム解析への応用 (東北大院理) ○桑原 和貴・最上 絢太・佐藤 雄介・西澤 精一
- Y1128 (13:15 ~ 14:15) ナフチリジン擬塩基を導入した三重鎖形成性ペプチド核酸の設計と機能評価 (東北大院理) ○市川 雄基・田邊 貴昭・佐藤 雄介・西澤 精一
- Y1129 (13:15 ~ 14:15) 温度・pH応答性高分子ミセルの創製とがん治療への応用 (慶大薬¹・慶大理工²) ○相原 佳真¹・勝山 直哉¹・蛭田 勇樹²・長瀬 健一¹・金澤 秀子¹
- Y1130 (13:15 ~ 14:15) 高輝度蛍光ナノエマルジョンの作製と細菌検出への応用 (高知大院理¹・高知大理工²) ○関田 慎也¹・山下 智史²・齋藤 愛梨¹・仁子 陽輔²・波多野 慎悟²・渡辺 茂²
- Y1131 (13:15 ~ 14:15) 金ナノ粒子を消光剤としたモレキュラービーコン型DNAモノコンジュゲートの作製 (東理大基礎工¹・東理大基礎工教養²・東理大IFC³) ○向田 茜¹・秋山 好嗣²・上村 真生^{1,3}

- Y1132 (13:15～14:15) 立体構造の異なるランダムDNAサブライブラリーを用いるトロンピン結合型アプタマー選抜 (埼玉大院理工¹・東大院総合文化²) ○坂本 寿樹¹・吉本 敬太郎²・洪川 雅美¹・齋藤 伸吾¹
- Y1133 (13:15～14:15) 生体内RNA定量可視化を志向した新規発光プローブの開発 (東大院理) ○江口 正敏・吉村 英哲・小澤 岳昌
- Y1134 (13:15～14:15) 三本鎖形成により誘起されたG-quadruplex構造によるがん細胞特定タンパク質発現抑制システムの開発 (熊本大院先端) ○高橋 直己・勝田 陽介・吉田 啓汰・井原 敏博
- Y1135 (13:15～14:15) フローデバイスを用いたフルオレセイン振動化学発光 (北大院総合化学院¹・北大院工²) ○池田 晋吾¹・真栄城 正寿²・石田 晃彦²・谷 博文²・渡慶次 学²
- Y1136 (13:15～14:15) 光反応を利用した金ナノロッド合成過程のその場分光分析 (金沢大院自然) ○香西 竣太・西山 嘉男・永谷 広久・井村 久則
- Y2012H (10:45～11:45) 凝析の研究 (福岡県立香住丘高等学校) ○濱中 桜子・吉留 春香・大神ケビン 祐一郎・塩津 隼也
- Y2013H (10:45～11:45) 炎色反応のスペクトル解析 (福岡県立戸畑高等学校) ○近藤 里咲・中田 侑那

【 高校生ポスター P/Y会場 】

【第2日 5月19日】

- Y2001H (10:45～11:45) 絶滅危惧種ミツガシワの環境要因と繁殖戦略の謎に迫る! (大分県立日田高等学校) ○丑田 智佳・後藤 歩・加藤 里佳子・重松 あかり・船津 勇一
- Y2002H (10:45～11:45) 北九州の雨水に関する研究 ～2018年5月～12月の酸性度及びイオン成分調査と結果の考察～ (明治学園中学高等学校) ○後藤 葵・岩男 彩音
- Y2003H (10:45～11:45) よりよい電池を求めて ～ダニエル電池の溶液濃度の違いによる電子の流れと電池効率の関係～ (明治学園中学高等学校) ○笹栗 峻
- Y2004H (10:45～11:45) 過冷却を持続させる方法 (佐賀県立佐賀西高等学校) ○菅原 蓮・平川 絢士・蛭名 良太・戸田 風砂・山口 留奈
- Y2005H (10:45～11:45) 金属樹の析出過程の観察 (佐賀県立佐賀西高等学校) ○山口 留奈・伊東 歩夢・植木 大空・江口 昇・大石 楓・北川 真衣・佐藤 秀賢・戸田 風砂・中島 玄喜・原口 耕大・吉岡 明香莉
- Y2006H (10:45～11:45) 干渴の泥でみずをきれいに～有明海の未来を救え～ (佐賀県立鳥栖高等学校) ○堀口 昌滉・中川 夢太・青木 亮・黒田 心・谷ノ口 祐弥・鶴田 爽太
- Y2007H (10:45～11:45) H₂O₂分解反応の速度論的研究 (福岡県立小倉高等学校 科学部SS化学班) ○岡内 菜央・小松 大介・大和 優太・山本 武和・日吉 恵都・安富 鈴夏
- Y2008H (10:45～11:45) ヨードホルム反応の沈殿生成条件 (福岡県立小倉高等学校 科学部SS化学班) ○山崎 俊弥・田中 偉琉
- Y2009H (10:45～11:45) 水の硬度・抽出方法とタンニン量の関係 (福岡県立城南高等学校) ○祝井 絹子・熊谷 美希・中川 路 遥南・西村 湧生・三苦 英輔
- Y2010H (10:45～11:45) 水の硬度の研究 (福岡県立八幡高等学校) ○有川 莉子・井藤 芳仁・松葉 大晟・明石 満帆・遠藤 和志・筒井 陽一・吉永 定
- Y2011H (10:45～11:45) 薬用植物 (ヨモギ) に関する研究 (福岡工業大学附属城東高等学校) ○副島 大河・田中 夢人・重松 慶太郎